

Honeywell

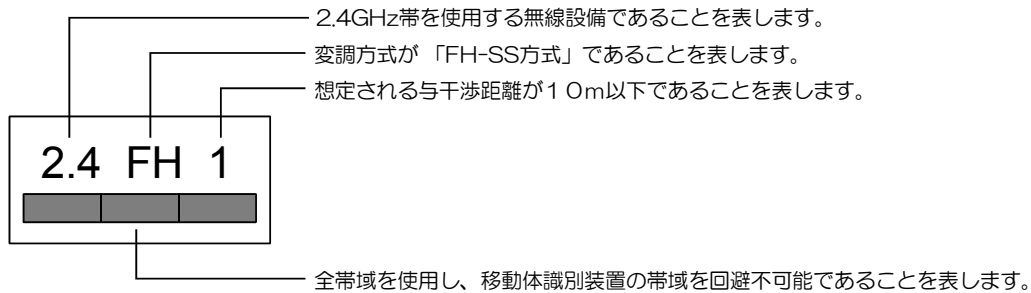


バーコードレーザスキャナ
取扱説明書

「電波について」

■ 電波に関する注意 ■

- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
 1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに使用場所を変更するか、電波の発射を停止してください。
- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の端末設備として、技術適合証明を受けています。本製品の分解/改造は違法となります。
- 交通機関内や医療機関内などでは、本製品のご使用はお控えください。電子機器や心臓ペースメーカーなどへの影響の可能性もあるため、ご利用に関しては各交通機関及び各医療機関の案内及び指示に従ってください。



改訂記録	
改訂番号	改訂日
Rev.1.0	2011/05/19 (初版)
Rev.1.1	2011/09/08 P.4.3 RS232C インターフェイス初期化バグコードを修正
Rev.1.2	2012/02/29 P.1.4 充電電池パックを交換手順、図を修正 P.2.4 写真差し替え 以下コードバグコード修正/追加/削除 マルチソケット削除, FIPS 暗号化削除, 無線ステーション通信圏外アラーム時間削除, 無線ステーション通信圏外アラームタイマー削除, Bluetooth パワーの設定削除, PC/ノートブック用 SPP 接続削除, PDA 用 SPP 接続削除, 無線ステーション接続追加, Bluetooth デバイス SPP 接続追加, 充電専用モード修正, 充電&無線リソケット修正, ロックリソケット (ソングルスキャナ)修正, オープンリソケット (ソングルスキャナ)修正
Rev.1.3	2012/06/19 P.2.1-2.3 図を修正

1. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
2. 本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
3. 本書内に記載されている製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
4. 本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
5. 運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

製品保証と注意事項

「保証期間」

本製品の保証期間は、弊社出荷日より5年間です。

「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

1. 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
2. 故障の原因が納入者以外の事由に場合
3. 外装部品の損傷
4. 需要者側で改造・修理を行った場合
5. 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

「FCC クラス B 適合について」

本装置は、FCC 規制の Part 15 に準拠するクラス B デジタル機器に対する制限に適合しております。これらの制限は、商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、居住地域に設置した場合、ラジオテレビなどへの妨害（受信障害）が起こることがあります。

「CE マークについて」

本装置に付いている CE マークは、2004/108/EC EMC に記載された EN55022:CLASS B, EN55024, EN61000-3-2, EN610003-3 規制に適合していることを示しています。また、弊社指定電源との出荷により、2006/95/EC Low Voltage Directive にも適合します。

「レーザー スキャに関する注意」



IEC60825-1

レーザー スキャには、クラス 2 準拠(最大出力 1.0mW, 630-650nm)のレーザーを使用しています。レーザー 照射窓を覗いたり、レーザー ビームを直視することは絶対にしないでください。

「Bluetooth 無線機器について」

Bluetooth 搭載メーカは、アメリカ電気・電子通信学会(IEEE)と米国規格協会(ANSI)が作成し、連邦通信委員会(FCC)によって採用が勧告されている RF 規格の安全レベルについて該当する最新規格に適合するように設計されています。

承認国	仕様
日本	TELEC
中国	SRRC
韓国	RR
台湾	DTG

「修理」

修理は全てドック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

「その他」



納入品の価格にはサービス費用は一切含んでおりません。

Blank page

安全上のご注意

安全にお使い頂くために必ずお守りください。

警告・注意表示は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項を示しています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読み下さい。

	<p>警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
	<p>注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷の発生が想定される内容を示しています。</p>

絵記号の意味

	<p><注意> 一般的な注意、警告、危険の通知を示しています。</p>		<p><禁止> 一般的な禁止を示しています。</p>
	<p><発火注意> 発火の可能性が想定されることを示しています。</p>		<p><水気禁止> 風呂、シャワーなどの水気の多い場所での使用を禁止することを示しています。</p>
	<p><感電注意> 感電の可能性が想定されることを示しています。</p>		<p><分解禁止> 製品の分解や改造を禁止することを示しています。</p>
	<p><破裂注意> 破裂の可能性が想定されることを示しています。</p>		<p><ケガ注意> 指を挟まれるなど、ケガを負う可能性が想定されることを示しています。</p>



警告

■本装置を絶対に分解しないで下さい。 ・故障・感電（火災）の原因になります。



■直射日光が長時間当たる場所、粉塵の多い場所、湿気が異常に多い場所、水を扱う場所、暖房機器など発熱物の近くでは使用しないで下さい。 ・故障・感電（火災）の原因になります。



■ケーブルに重いものを載せないで下さい。また、ケーブルをねじったり、強く引っ張ったりしないで下さい。 ・ケーブルの被覆破れや断線が発生し、故障・感電（火災）の原因になります。



■引火性のガスや発火性の物質のある場所及び薬品や化学物質などを扱う場所では、絶対に使用しないで下さい。 ・火災・爆発・故障の原因になります。



■故障した状態のまま使用しないで下さい。異臭がする、煙が出たなどの異常が生じた時は、すぐに接続している機器の電源をOFFにしコネクタを抜いて下さい。 ・感電（火災）の原因になります。





注意

■使用可能な温度・湿度内で使用して下さい。

・故障の原因になります。



■濡れた手でケーブルの接続や取り外しを行わないで下さい。

・故障・感電の原因になります。



■長期的な振動（バイクの荷台や自転車での移動）や強いショック（落下）を与えないで下さい。

・故障の原因になります。



■温度が激しく変化する場所（夏場の車内）や熱器具など熱を発生する物の近くに放置しないで下さい。

・装置のケースが変形したり、故障の原因になります。



■不安定な場所（棚など）でのご使用や保管は避けて下さい。

・不用意な落下による故障やけがの原因になります。



■揮発性の高い有機溶剤（シンナー・ベンジンなど）や薬品、化学雑巾で拭かないでください。また、殺虫剤を吹きかけないで下さい。

・ケースの変形や変色の原因になります。



Blank page

Index

1.	はじめに.....	1.1
1.1	ご使用上の注意.....	1.1
1.2	梱包内容の確認.....	1.1
1.3	ワイヤレスキャナのLED・ビームインディケータ.....	1.2
1.4	ワイヤレスキャナを充電する.....	1.3
1.5	ワイヤレスキャナの充電電池パックを交換する.....	1.4
2.	キャナとPCと接続する.....	2.1
2.1	RS232C インターフェイスで接続する.....	2.1
2.2	キーボード インターフェイスで接続する.....	2.2
2.3	USB インターフェイスで接続する.....	2.3
2.5	ワイヤレスキャナとホストステーションのリックを確立する.....	2.4
3.	キャナの読み取り操作.....	3.1
3.1	キャナの読み取り操作.....	3.1
4.	パラメータ設定.....	4.1
4.1	システムリセット.....	4.1
4.2	キャナの簡単セットアップ.....	4.2
4.2.1	ワイヤレスキャナの初期化.....	4.2
4.2.2	RS232C インターフェイスの初期化.....	4.3
4.2.3	DOS/V キーボード インターフェイスの初期化.....	4.3
4.2.4	USB キーボード インターフェイスの初期化.....	4.4
4.2.5	USB パーチャル COM インターフェイスの初期化.....	4.5
4.2.6	OPOS インターフェイスの初期化.....	4.6
4.2.7	Honeywell Bioptic AUX ホストインターフェイスの初期化.....	4.7
4.2.8	Datalogic™ Magellan® Bioptic AUX ホストインターフェイスの初期化.....	4.7
4.2.9	NCR Bioptic AUX ホストインターフェイスの初期化.....	4.7
4.2.10	プリフィックス/サフィックスの初期化.....	4.8
4.3	USB-HID 復帰時間.....	4.13
4.4	キーボード インターフェイス.....	4.14
4.4.1	キーボード カトリの設定.....	4.14
4.4.2	CAPS LOCK の設定.....	4.14
4.4.3	ALT シェイクスの設定.....	4.15
4.4.4	ブレークアウト 送信の設定.....	4.15
4.4.5	テンキーモードの設定.....	4.15
4.4.6	スキャンコード 間デレイの設定.....	4.16
4.4.7	キーボード 動作モードの設定.....	4.17
4.5	RS232C インターフェイス.....	4.18
4.5.1	ポートの設定.....	4.18
4.5.2	データフォーマットの設定.....	4.19
4.5.3	RTS/CTS ハンドシェイクの設定.....	4.20
4.5.4	ACK/NAK ハンドシェイクの設定.....	4.21
4.5.4	XON/XOFF ハンドシェイクの設定.....	4.22
4.6	USB パーチャル COM インターフェイス.....	4.23
4.6.1	RTS/CTS ハンドシェイクの設定.....	4.23
4.6.2	ACK/NAK ハンドシェイクの設定.....	4.24
4.7	Bluetooth インターフェイス.....	4.25
4.7.1	ホストステーション接続の設定.....	4.25
4.7.2	自動再リックの設定.....	4.26
4.7.3	通信圏外アラームの設定.....	4.27
4.7.4	通信圏外メモリ機能パッチモードの設定.....	4.28
4.7.5	ワイヤレスキャナ名の設定.....	4.31
4.7.6	ワークグループ番号の設定.....	4.33

4.7.7	SPP 接続の設定.....	4.34
4.7.8	ホスト ESC コマンドの設定.....	4.35
4.8	インデックス.....	4.36
4.8.1	パワーアップブザーの設定.....	4.36
4.8.2	BEL 受信ブザーの設定.....	4.36
4.8.3	グッドリードブザーの設定.....	4.37
4.8.4	エラーブザーの設定.....	4.39
4.8.5	LED インデックスの設定.....	4.40
4.8	スキャナオプション.....	4.42
4.8.1	プレゼンテーションモードの設定.....	4.42
4.8.2	マニュアルアクティベーションモードの設定.....	4.43
4.8.3	CodeGate® モードの設定.....	4.45
4.8.4	オブジェクト検出モードの設定.....	4.46
4.8.5	キャラクタアクティベーションモードの設定.....	4.48
4.8.5	同一コード読取デレイの設定.....	4.50
4.9	データ送信.....	4.51
4.9.7	データ送信ソークスの設定.....	4.51
4.9.2	ノリード送信の設定.....	4.54
4.9.3	ファンクションコード送信の設定.....	4.54
4.9.4	チェックキャラクタ送信の設定.....	4.54
4.9.5	キャラクタ間デレイの設定.....	4.55
4.9.6	指定キャラクタデレイの設定.....	4.56
4.9.7	ファンクション間デレイ・メッセージ間デレイの設定.....	4.57
4.9.8	プリフィックス/サフィックスの設定.....	4.58
4.10	読取シリアル(バーコード)の設定.....	4.61
4.10.1	ユーダバー(NW7)の設定.....	4.62
4.10.2	コード 39 の設定.....	4.64
4.10.3	インターリーブド 2/5 の設定.....	4.66
4.10.4	NEC 2/5 の設定.....	4.68
4.10.5	コード 93 の設定.....	4.70
4.10.6	ストリート 2/5 の設定.....	4.71
4.10.7	マトリクス 2/5 の設定.....	4.72
4.10.8	コード 11 の設定.....	4.74
4.10.9	コード 128 の設定.....	4.76
4.10.10	GS1-128 の設定.....	4.78
4.10.11	Telepen の設定.....	4.80
4.10.12	UPC-A の設定.....	4.82
4.10.13	UPC-E の設定.....	4.84
4.10.14	EAN/JAN-13 の設定.....	4.86
4.10.15	EAN/JAN-8 の設定.....	4.88
4.10.16	MSI の設定.....	4.90
4.10.17	Plessey の設定.....	4.92
4.10.18	GS1 Databar Omnidirectional の設定.....	4.94
4.10.19	GS1 Databar Limited の設定.....	4.95
4.10.20	GS1 Databar Expanded の設定.....	4.96
4.10.21	GS1 イミュレーションの設定.....	4.97
4.10.22	Trioptic コードの設定.....	4.98
4.10.23	中国郵便コードの設定.....	4.99
5.	シリアルコマンド.....	5.1
5.1	メニューコマンド.....	5.1
5.2	シリアルリファレンスコマンド.....	5.3

A.1	インターフェイスケーブルの交換.....	A.1
A.2	メンテナンス.....	A.1
A.3	EZConfig 設定ユーティリティソフト.....	A.2
A.4	データ編集機能.....	A.3
A.4.1	データ編集フォーマット.....	A.3
A.4.2	データ編集フォーマットの種類.....	A.9
A.4.3	データ編集機能の設定例.....	A.10
A.5	コード ID 表.....	A.20
A.6	キーボードコード対応表.....	A.22
A.7	ASCIIコード表.....	A.24
A.8	トラブルシューティング.....	A.25
A.10	サンプルコード.....	A.26
	修理依頼書.....	A.27

Blank page

1. はじめに

この度は、Honeywell 社製レーザー スキャナ(以下、スキャナ)をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この説明書は、Honeywell 社のスキャナの基本的な使用方法と設定方法について説明しております。ご使用になられる前に必ずお読みください。

1.1 ご使用上の注意

本装置は精密な電子部品で構成されていますので、絶対に分解しないでください。本装置が万一故障した場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

1.2 梱包内容の確認

本装置の梱包内容は、下記のようになっています。ご確認の上、万一不足、破損品がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

(梱包内容)

ケーブル式スキャナ

- ◆ スキャナ本体(指定インターフェイスケーブル付)-----1 台
- ◆ インターフェイスケーブル-----1 本
- ◆ AC アダプタ-----1 個 (*1)
- ◆ 簡易取扱説明書-----1 冊

(*1) AC アダプタは、別途購入した場合に付属します。

ワイヤレス式スキャナ

- ◆ スキャナ本体-----1 台
- ◆ 充電電池パック-----1 個
- ◆ AC アダプタ-----1 個 (*1)
- ◆ 簡易取扱説明書-----1 冊

(*1) AC アダプタは、別途購入した場合に付属します。

ワイヤレス式スキャナ用アクセスポイント

- ◆ アクセスポイント-----1 台
- ◆ インターフェイスケーブル-----1 本
- ◆ AC アダプタ-----1 個 (*1)

(*1) AC アダプタは、別途購入した場合に付属します。

梱包箱は、修理などで製品を返送する場合、輸送時の損傷を避けるために必要となります。大切に保管してください。

1.3 ワイヤレスキャナのLED・ビープインディケータ

ワイヤレスキャナ及びベースステーションは、ホステルにステータスを知らせるためのLED及びビープインディケータを搭載しており、それぞれ下記のステータスを意味します。

ワイヤレスキャナのLED・ビープ		
LED	ビープ	意味
通常動作		
赤色 点滅	無し	電池残量が少ない
緑色 点滅	1回ビープ	通信成功又はリソク成功
赤色 点滅	低音ビープ / 高音ビープ	通信失敗
設定メニューコード読み取り		
緑色 点滅	2回ビープ	設定成功
赤色 点滅	低音ビープ / 高音ビープ	設定失敗

ベースステーションの充電ステータスLED	
LED	意味
緑色 点灯	80%以上 充電済み
緑色 低速点滅 1秒毎 ON/OFF	30% ~ 80% 充電済み
緑色 高速点滅 300ミリ秒毎 ON/OFF	30%未満 充電済み

ベースステーションのシステムステータスLED	
LED	意味
赤色 点灯	電源 ON、待機中
赤色 低速点滅	電源 ON、自己診断エラー
赤色 高速点滅	無線通信・有線通信中
赤色 1回点滅 約30秒毎に発生	Bluetooth 無線ステータス診断

1.4 ワイヤレスキャナを充電する

ワイヤレスキャナは、専用リチウムイオン充電電池パックを採用しています。この充電電池パックは、フル充電状態で約 14 時間(50,000 スキャン)¹の動作が可能です。

ワイヤレスキャナをベースステーションに置くと、充電が自動的に行われます。充電が行われている間、ベースステーションの充電ステータス LED が緑色に点滅し、完了すると、常時点灯に変わります。充電時間は約 4.5~5 時間です。

✓ベースステーションの電源を USB インターフェイスケーブルやキーボード インターフェイスケーブル経由で PC から供給している場合は、通常より長い充電時間が必要になります。専用 AC アダプタの接続をお勧めします。

充電電池の寿命

充電電池の特性上、十分な充電を行っても使用できる時間が短くなった時が交換の目安となります。必ず、専用リチウムイオン充電電池パックをお求めください。

安全に、より長く充電電池パックをご使用いただくために

- 充電電池パックは、30%~60%程度充電された状態で出荷されています。ご購入後、最初に約 5 時間 充電電池パックを充電してください。
- 充電は、5~40℃の環境で行ってください。
- 長期間使用しない場合は、液漏れの危険があるため、充電電池パックを取り外して保管してください。
- 次頁の ⚠危険・警告・注意をお読みの上、正しくお使いください。

充電電池パック・充電器の注意

ワイヤレスキャナで指定されている専用の充電電池パック及び充電器を必ずご使用ください。液漏れ・発熱・破裂の恐れがあり、大変危険です。以下の事項を必ずお守りください。

⚠危険

- 専用充電器以外では充電しない。
- ハダ付けや分解・改造・変形をしない。
- 火中投入、加熱ショートしない。
- 液漏れした駅が目に入った時は、失明の恐れがありますので、こすらずにきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠警告

- +-(プラスマイナス)を正しく入れる。
- +-(プラスマイナス)を金属物に接触させない。また、金属製のネックレスやヘアピンと一緒に持ち運んだり保管しない。
- 外装ケースをはがしたり傷つけない。
- 液漏れした液が手や衣服に付いた時は直ちにきれいな水で洗い流すこと。
- 液漏れや変色、変形に気づいたときは使用しない。
- 乳幼児の手の届かない所へ保管する。万が一飲み込んだ場合は、すぐに医者に相談する。

¹ 動作時間・スキャン数は目安です。運用状況、周囲環境により異なりますので、ご注意ください。

⚠注意

- 強い衝撃を与えたり、投げつけない。
- 水に濡らさない。
- 充電した電池と放電した電池を混用しない。
- 新旧の電池を混用して使用しない。
- 使用しない時は、機器から取り外す。
- 専用の充電池及び充電器以外は使用しない。

充電池の廃棄について

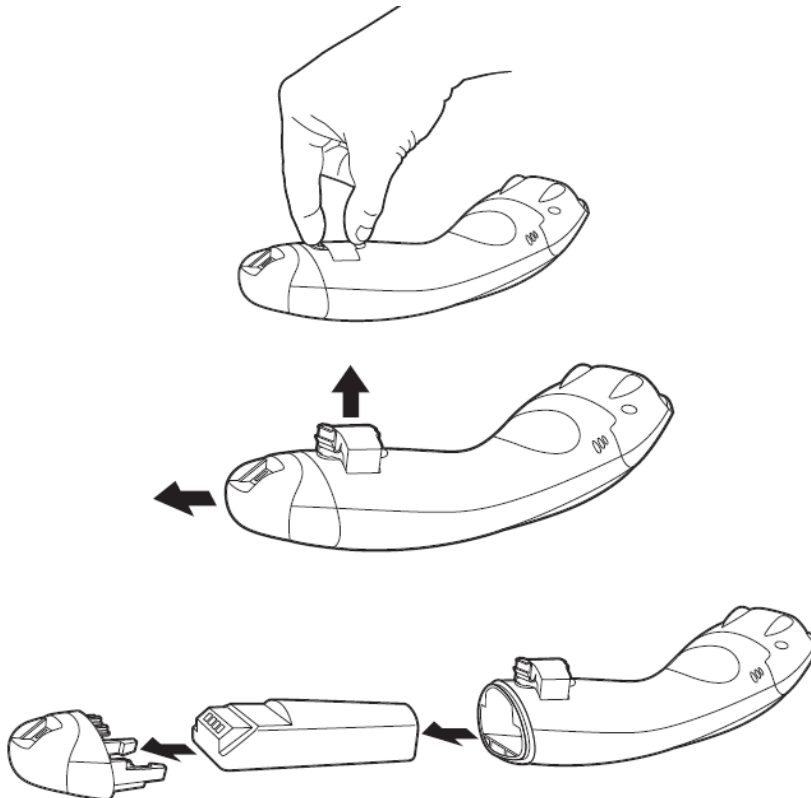
使用済みの充電池は「充電式電池リサイクル協力店くらぶ」に加入の電気店またはスーパーなどに設置されているリサイクルボックスに入れてください。



1.5 ワイヤレスキーの充電池パックを交換する

下記の手順に従って、充電池パックの交換を行ってください。

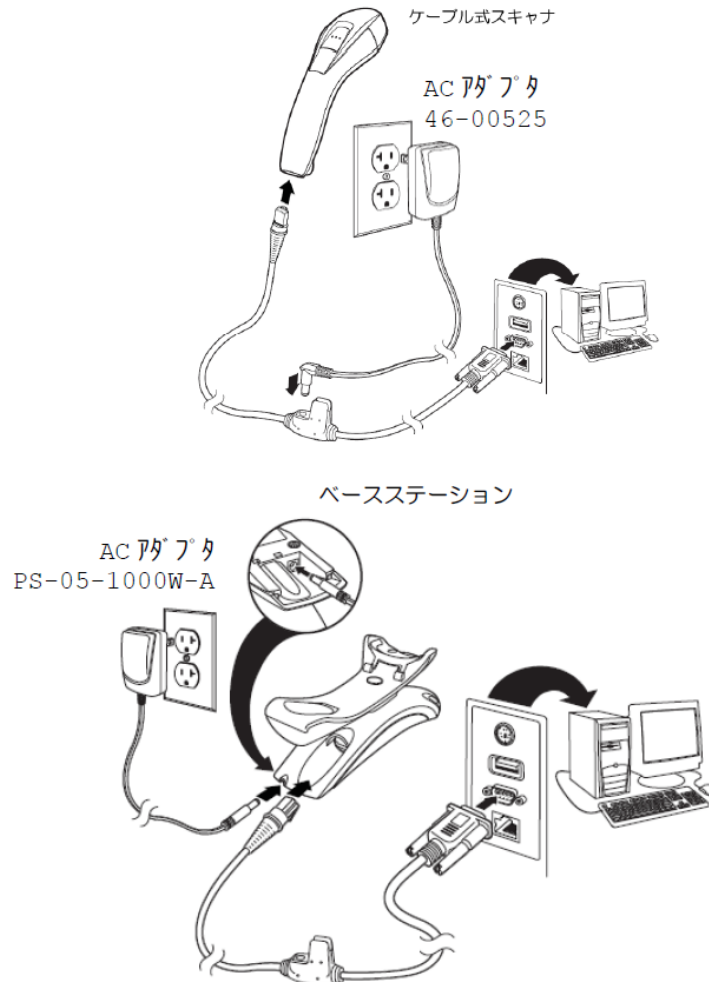
1. キーを裏返します。
2. バッテリーパックの詰め部分を抑えながら上に引き上げ、ボトムキャップを取り外します。
3. 新しい充電池パックをセットします。
4. ボトムキャップを元に戻し、バッテリーパックを元通りすれば完了です。



2. スキャナと PC と接続する

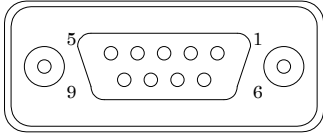
2.1 RS232C インターフェイスで接続する

下図を参照して、PC を接続してください。インターフェイスの初期化については、本書「4.2 簡単セットアップ」を参照ください。



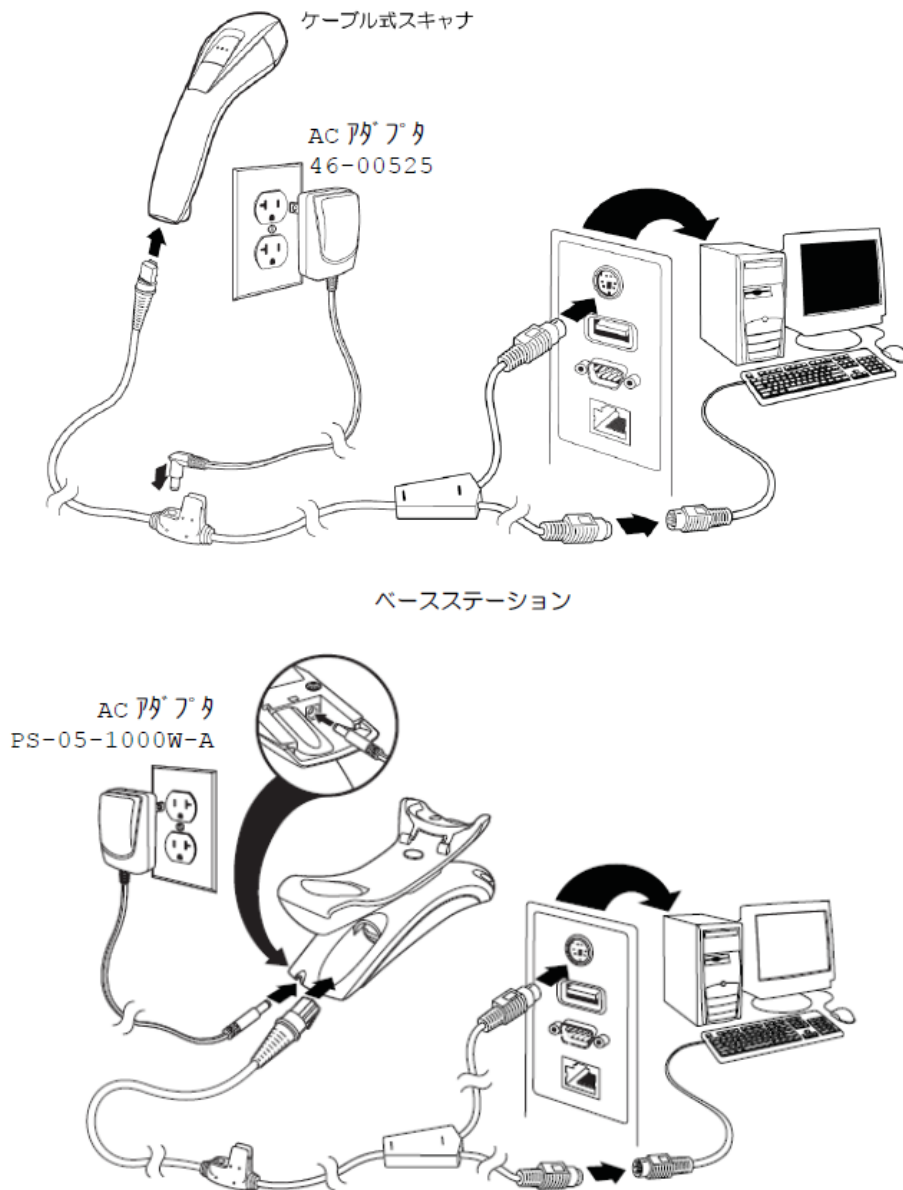
下記に RS232C インターフェイスケーブルのピン配列を示します。

RS232C インターフェイスケーブル ピン配列	
D-Sub9 メスコネクタ	
ピン番号	信号名
1	シールド
2	TxD
3	RxD
4	N/C
5	GND
6	N/C
7	CTS
8	RTS
9	スキャナ電源 DC5V



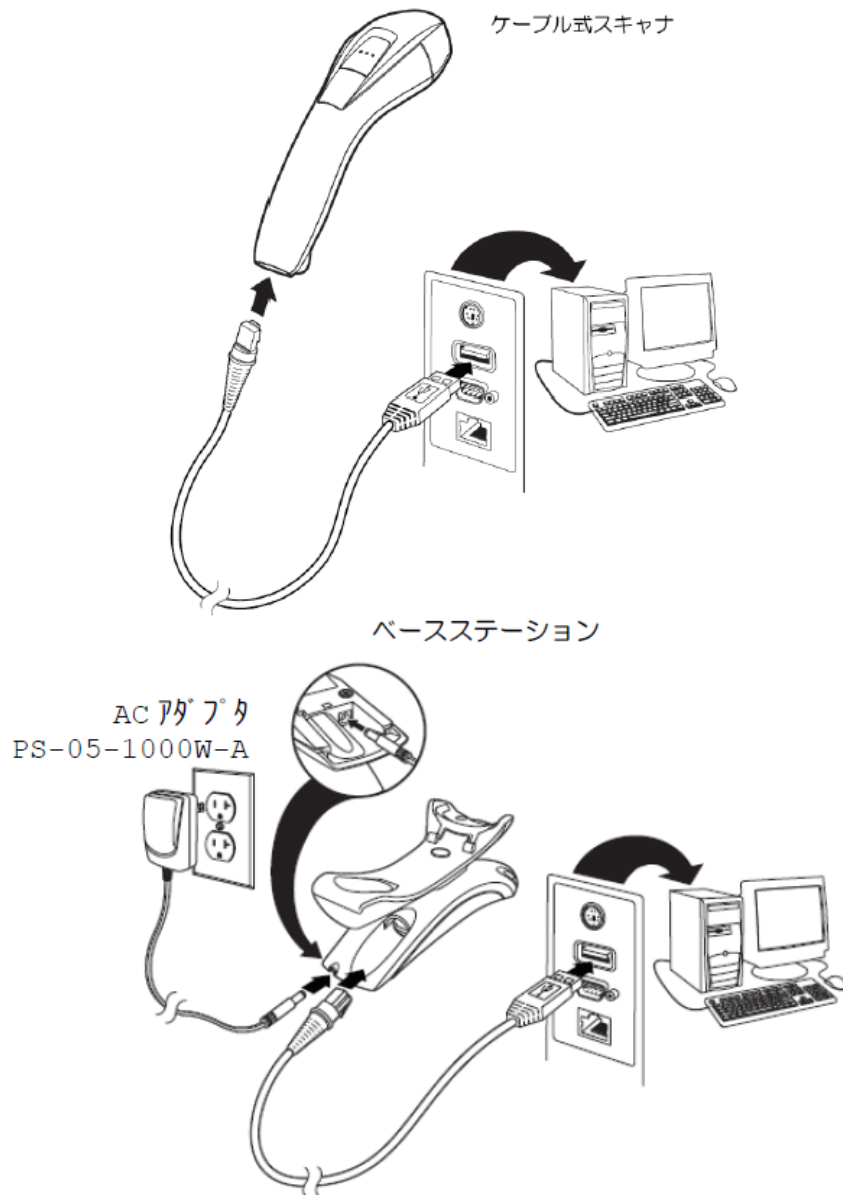
2.2 キーボードインターフェイスで接続する

下図を参照して、PC を接続してください。インターフェイスの初期化については、本書「4.2 簡単セットアップ」を参照ください。



2.3 USB イターフェイスで接続する

下図を参照して、PC を接続してください。イターフェイスの初期化については、本書「4.2 簡単セッアップ」を参照ください。



✓USB バーチャル COM ドライバのインストール方法は、製品に添付の簡易説明書及び別冊の「USB-COM ドライバ インストール手順」を参照ください。

2.5 ワイヤレスキャナとベースステーションのリックを確立する

ご購入されたワイヤレスキャナは、初期状態では、ベースステーションとのリックが確立していません。下記の手順に従って、リックの確立を行ってください。

1. 前ページまでを参照して、PC とベースステーションを正しく接続します。
2. ワイヤレスキャナをベースステーションにセットします。ピポピというピップ音が鳴った後、リック試行が始まります。プップップップップ...ピコ(ワイヤレスキャナの緑色 LED も瞬時点灯)というピップ音が鳴れば、リックは成功です。



3. リックが始まらない場合は、下記のマトリックスコードをスキャンして、再度、イメージキャナをベースステーションにセットしてみてください。



✓ベースステーションとのリックが確立していない場合

1. トリガボタンを押すと、プッというピップ音が鳴ります。
2. マトリックスコードをスキャンすると、プーぷーぷーというピップ音が鳴り、同時に赤色 LED が3回点滅します。

3. スキャンの読み取り操作

本章ではスキャンの読み取り操作について説明します。

3.1 スキャンの読み取り操作

スキャンでバーコードを読み取る場合、下図に示す様にレーザービームが目的のコードの端から端まで横切るように照射します。

レーザービームの正しい照射例



レーザービームの間違った照射例



CDRH Class 2

最大出力 1mW の 630-650nm クラス 2 レーザを使用しています。レーザー照射窓を覗いたり、レーザービームを直視することは絶対にしないでください。

Blank page

4. パラメータ設定

スキャナのパラメータは本章に記載する専用コマンドバーコードを使って設定します。

パラメータ設定を始める前に、PC とスキャナを正しく接続し、バーコードの読み取りが行える状態にしてください。

コマンドバーコード表の使い方

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	CAPS LOCK 12 通常CAPS LOCK状態で12 →を使用します。	■
	CAPS LOCK 12 通常CAPS LOCK状態で12 →を使用します。	
	CAPS LOCK 自動検出 CAPS LOCK 状態を自動検出 します。この設定は、CAPS LOCK 対応 LED を搭載し た PC-AT, PS2 のみ有効で す。	

コマンドバーコード
このバーコードをスキャンすると、説明欄にあるパラメータ設定が行えます。

デフォルト
スキャナのデフォルト設定値を意味します。ユーザーの設定値を書き込む状態としても利用できます。

説明欄
コマンドバーコードの説明・設定手順が書かれています。

4.1 システムコマンド

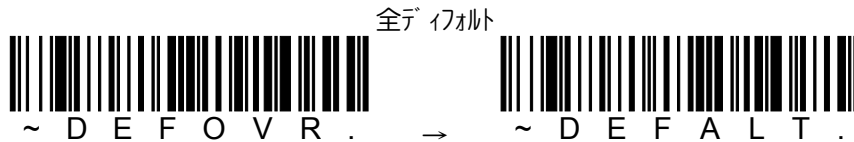
コマンドバーコード	説明
<p style="text-align: center;">全デフォルト</p> ↓ 	パラメータ設定値を工場出荷時のデフォルト設定値に戻します。ワイヤレススキャナの場合は、レシーバーとの接続を再度確立させてください。
<p style="text-align: center;">カスタムデフォルト設定</p>	カスタムデフォルトを設定します。設定したい項目のコマンドバーコードをスキャンする前に左記のコマンドバーコードをスキャンします。
<p style="text-align: center;">カスタムデフォルト</p>	カスタムデフォルト設定値に戻します。ワイヤレススキャナの場合は、レシーバーとの接続を再度確立させてください。
<p style="text-align: center;">バージョン表示</p>	バージョンを出力します。
<p style="text-align: center;">データフォーマット設定表示</p>	現在のデータフォーマット設定を出力します。

4.2 スキャナの簡単セットアップ

4.2.1 ワイヤレススキャナの初期化

最初にワイヤレススキャナとパソコンとのパラメータ設定値を工場出荷時の初期状態にリセットして、リッパを確立させます。リッパが確立すれば、各インターフェイスの初期化に進んでください。

1. PC とパソコンを正しく接続します。
2. 下記の「全デフォルト」コマンドバーコードを左から順にスキャンします。



3. ワイヤレススキャナをパソコンにセットします。ピッピッというビープ音が鳴った後、リッパ試行が始まります。プッッッッッッッッッッ...ピッ(ワイヤレススキャナの緑色 LED も瞬時点灯)というビープ音が鳴れば、リッパは成功です。



4. リッパが始まらない場合は、下記のコマンドバーコードをスキャンして、再度、スキャナをパソコンにセットしてみてください。



パラメータ設定値を工場出荷時にリセットする必要が無い場合は、「全デフォルト」コマンドバーコードをスキャンせず、リッパの確立のみを行い、各インターフェイスの初期化に進んでください。

✓ パソコンとのリッパが確立していない場合

1. トリガボタンを押すと、プッというビープ音が鳴ります。
2. バーコードをスキャンすると、プッッッというビープ音が鳴り、同時に赤色 LED が 3 回点滅します。

4.2.2 RS232C インターフェイスの初期化

PC とイメージャ又はベースステーションを RS232C インターフェイスケーブルで接続している場合は、この初期化メニューをご使用ください。

上から順番にスキャンしてください

 ~ P A P 2 3 2 .	RS232C インターフェイス
 ~ 2 3 2 B A D 5 .	9600/8/N/1, サフィックス CR/LF
 ~ 2 3 2 W R D 2 .	

※ 設定完了後、イメージャ及び PC の電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

4.2.3 DOS/V キーボード インターフェイスの初期化

PC とイメージャ又はベースステーションを DOS/V キーボード インターフェイスケーブルで接続している場合は、この初期化メニューをご使用ください。

上から順番にスキャンしてください(デスクトップ PC)

 ~ P A P _ A T .	PC AT キーボード デスクトップ PC データ+インターキー
 ~ K B D C T Y 2 8 .	日本語キーボード

※ 設定完了後、イメージャ及び PC の電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

上から順番にスキャンしてください(ノートPC)

 ~ P A P _ A T .	PC AT キーボード デスクトップ PC データインターキー
 ~ K B D C T Y 2 8 .	日本語キーボード
 ~ K B D S T Y 5 .	外付キーボードエミュレーション

※ 設定完了後、イメージ及びPCの電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

4.2.4 USB キーボードインターフェイスの初期化


PC とイメージ又はハンズステーションを USB インターフェイスケーブルで接続している場合は、この初期化メニューをご使用ください。

(日本語キーボード)

 ~ T E R M I D 1 3 4 .	日本語 106/109 キーボード
--	-------------------


※ 設定完了後、イメージ及びPCの電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

(英語キーボード)

 ~ P A P 1 2 4 .	英語 101/104 キーボード
--	------------------


※ 設定完了後、イメージ及びPCの電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

(MAC キーボード)

 ~ P A P 1 2 5 .	MAC キーボード
--	-----------

※ 設定完了後、イメージ及びPCの電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

(HID デバイス)

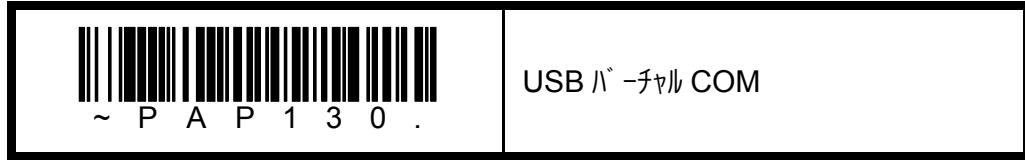
 ~ P A P 1 3 1 .	USB-HID
--	---------

※ 設定完了後、イメージ及びPCの電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

4.2.5 USB バーチャル COM インターフェイスの初期化

PC とスキャナ又はバーチャルステーションを USB インターフェイスケーブルで接続している場合は、この初期化メニューをご使用ください。

(Windows XP/Server 2003 以降)



※ 設定完了後、スキャナ及び PC の電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

USB バーチャル COM ドライバ を弊社 WEB サイトより入手してください。

http://www.aiware-distribution.com/support/dl_driver.htm

USB/バーチャルCOM(USB-COM) ドライバ

Xenon 1900/1902/2020ベース, 3800g, 3800g, 3800i, 4206, 4600g, 4600r, 4800dr, 4800i, 4800p,
5110/5180/N5600エンジン, QC890, MS4980, MS3580, MS3780, MS7580, MS7120, MS7820,
MS9535, MS9540, Voyager 1200, Hyperion 1300 他 対応

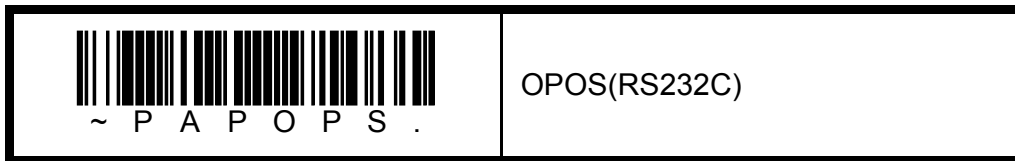
USB/バーチャルCOM(USB-COM)ドライバ

[hsm.usbcom.zip](#)

[4MB](#)

4.2.6 OPOS インターフェイスの初期化

スキャナを OPOS インターフェイスで運用する場合は、この初期化メニューをご使用ください。



※ 設定完了後、スキャナ及び PC の電源を初にし、再立ち上げを行ってください。

スキャナは初期化のように初期化されます。

インターフェイス	RS232C 38,400bps/8/N/1
ハンドシェイク	フロー制御有り, タイムアウト無し XON/XOFF 制御無し ACK/NAK 無し
プリフィックス	無し
コード ID	有り, AIM ID プリフィックス
サフィックス	有り, CR
キャラクタ間遅延	無し
読取コード	UPC-A チェックディジットシステム付有り UPC-E0 チェックディジット有り EAN/JAN-8 チェックディジット有り EAN/JAN-13 チェックディジット有り コード 128 コード 39

OPOS ドライバを弊社 WEB サイトより入手してください。

http://www.aiware-distribution.com/support/dl_driver.htm

OPOS/JAVAPOS ドライバ

Xenon 1900/1902シリーズ他 対応

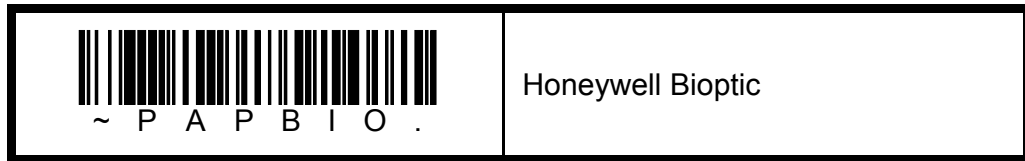
OPOS/JAVAPOS ドライバ

[hw-opos.zip](#)

44MB

4.2.7 Honeywell Bioptic AUX ホットインタフェースの初期化

スキャナを Honeywell Bioptic AUX ホットインタフェースで運用する場合は、この初期化メニューをご使用ください。



※ 設定完了後、スキャナ及び PC の電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

4.2.8 Datalogic™ Magellan® Bioptic AUX ホットインタフェースの初期化

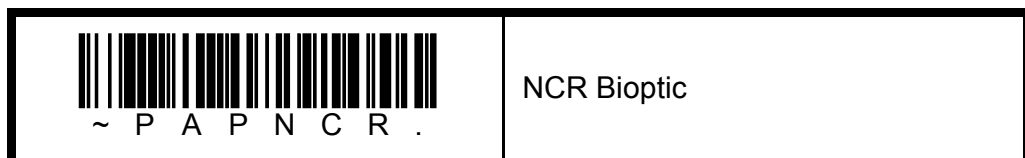
スキャナを Datalogic™ Magellan® Bioptic AUX ホットインタフェースで運用する場合は、この初期化メニューをご使用ください。



※ 設定完了後、スキャナ及び PC の電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

4.2.9 NCR Bioptic AUX ホットインタフェースの初期化

スキャナを NCR Bioptic AUX ホットインタフェースで運用する場合は、この初期化メニューをご使用ください。



※ 設定完了後、スキャナ及び PC の電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

4.2.10 プリフィックス/サフィックスの初期化

プリフィックスは読み取ったデータの前に付加される固定データ、サフィックスは読み取ったバーコードの後ろに付加される固定データを意味します。それぞれ 11 文字までの任意のキャラクタを設定できます。

プリフィックス (max.11 文字)	読取データ	サフィックス (max.11 文字)
------------------------	-------	-----------------------

デフォルトは、プリフィックス 無し・サフィックス 無しです。変更が必要な場合は、下記から希望する初期化メニューを上から順番に読み取ってください。

また、任意の文字列を設定したい場合は、「4.9.6 プリフィックス/サフィックスの設定」を参照ください。



プリフィックス 無し/サフィックス 無し

上から順番にスキャンしてください

 ~ P R E C A 2 .	全プリフィックス クリア
 ~ S U F C A 2 .	全サフィックス クリア

プリフィックス 無し/サフィックス CR(インターキー)

上から順番にスキャンしてください

 ~ P R E C A 2 .	全プリフィックス クリア
 ~ V S U F C R .	全サフィックス CR(インターキー)

プリフィックス無し/サフィックス インターキー(テンキー)

上から順番にスキャンしてください

 ~ P R E C A 2 .	全プリフィックス クリア
 ~ S U F B K 2 .	サフィックス設定開始
 ~ K 9 K	全シフト
 ~ K 9 K	
 ~ K 0 K	インターキー(テンキー)
 ~ K 1 K	
 ~ M N U S A V .	サフィックス設定終了










プリフィックス無し/プリフィックス TAB キー

上から順番にスキャンしてください

 ~ P R E C A 2 .	全プリフィックス クリア
 ~ S U F B K 2 .	プリフィックス設定開始
 ~ K 9 K	全ソール
 ~ K 9 K	
 ~ K 0 K	TAB キー
 ~ K 9 K	
 ~ M N U S A V .	プリフィックス設定終了













プリフィックス無しがフィックス CR/LF

上から順番にスキャンしてください

 ~ P R E C A 2 .	全プリフィックスクリア
 ~ S U F B K 2 .	フィックス設定開始
 ~ K 9 K	全シフト
 ~ K 9 K	
 ~ K 0 K	CR
 ~ K D K	
 ~ K 0 K	LF
 ~ K A K	
 ~ M N U S A V .	フィックス設定終了














プリフィックス STX/サフィックス ETX

上から順番にスキャンしてください


 ~ P R E B K 2 .	プリフィックス設定開始
 ~ K 9 K	全シボ [®] ル
 ~ K 9 K	
 ~ K 0 K	STX
 ~ K 2 K	
 ~ M N U S A V .	プリフィックス設定終了
 ~ S U F B K 2 .	サフィックス設定開始
 ~ K 9 K	全シボ [®] ル
 ~ K 9 K	
 ~ K 0 K	ETX
 ~ K 3 K	
 ~ M N U S A V .	サフィックス設定終了

4.3 USB-HID 復帰時間

USB 復帰時間を設定しておくことで、USB バーチャル COM インターフェイスなどで PC との接続が正常に確立できなかった場合に、自動的に USB-HID インターフェイスに復帰させることができます。USB 復帰時間には、0~60 分を設定でき、デフォルト値は、5 分です。

マシナリコード	説明	デフォルト
 ~ U S B F T O .	<u>USB フォールバックモード 設定開始</u> 左記のマシナリコード をスキャンし、続けて「数値マシナリコード表」から 0~60 をスキャンし、最後に「確定」マシナリコード をスキャンします。	5
数値マシナリコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.4 キーボードインターフェイス

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ K B D D F T .	キーボードインターフェイスデフォルト	

4.4.1 キーボードカントリーの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ K B D C T Y 0 .	USA	<input checked="" type="checkbox"/>
 ~ K B D C T Y 2 8 .	日本	



4.4.2 CAPS LOCK の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ K B D S T Y 0 .	<u>CAPS LOCK</u> 対応 通常 CAPS LOCK 対応で PC を使 用します。	<input checked="" type="checkbox"/>
 ~ K B D S T Y 1 .	<u>CAPS LOCK</u> 対応 通常 CAPS LOCK 対応で PC を使 用します。	
 ~ K B D S T Y 2 .	<u>SHIFT LOCK</u> 対応 通常 SHIF LOCK 対応で PC を使 用します。	
 ~ K B D S T Y 6 .	<u>CAPS LOCK 自動検出</u> CAPS LOCK 状態を自動検出し ます。この設定は、CAPS LOCK ステータス LED を搭載した PC-AT, PS/2 のみ有効です。	

4.4.3 ALT シーケンスの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ K B D A L T 0 .	ALT シーケンス 0	<input checked="" type="checkbox"/>
 ~ K B D A L T 6 .	ALT シーケンス 6 (ALT+3 キャラクタ)	<input type="checkbox"/>
 ~ K B D A L T 7 .	ALT シーケンス 7 (ALT+4 キャラクタ)	<input type="checkbox"/>

4.4.4 ブレークコード送信の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ K B D F 0 B 0 .	ブレークコード <F0>送信 0	<input type="checkbox"/>
 ~ K B D F 0 B 1 .	ブレークコード <F0>送信 1	<input checked="" type="checkbox"/>

4.4.5 テキモードの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ K B D N P S 1 .	テキモード 1 数字データをテキ入力として送信 します。	<input type="checkbox"/>
 ~ K B D N P S 0 .	テキモード 0 数字データをフルボード入力として 送信します。	<input checked="" type="checkbox"/>


4.4.6 スキャンコード間デレイの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ K B D D L Y .	スキャンコード間デレイ設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から 0～30 をスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	0 (0.8 ミリ秒)
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	










4.4.7 キーボード動作モードの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ K B D S T Y 5 .	外付けキーボードエミュレーション ノート PC で外付けキーボードを接続しない場合に設定します。 <u>設定後、必ずノート PC の電源を再立ち上げてください。</u>	
 ~ K B D C N V 0 .	大文字/小文字変換送信 切	
 ~ K B D C N V 1 .	大文字変換送信 切	
 ~ K B D C N V 2 .	小文字変換送信 切	
 ~ K B D C A S 3 .	アプリケーション/ウィンドウズ 切 (Windows) CTRL+ASCII 入力を切にします。実際送信されるキーセットは、本書「A.6 キーボードコード対応表」を参照下さい。	
 ~ K B D C A S 2 .	CTRL+ASCII 入力 切 (Windows) CTRL+ASCII 入力を切にします。実際送信されるキーセットは、本書「A.6 キーボードコード対応表」を参照下さい。	
 ~ K B D C A S 1 .	CTRL+ASCII 入力 切 (DOS) CTRL+ASCII 入力を切にします。実際送信されるキーセットは、本書「A.6 キーボードコード対応表」を参照下さい。	
 ~ K B D C A S 0 .	CTRL+ASCII 入力 切 CTRL+ASCII 入力を切にします。	■
 ~ K B D T M D 1 .	ファンクションコード送信 切 ファンクションコード送信を切にします。実際送信されるキーセットは、本書「A.6 キーボードコード対応表」を参照下さい。	
 ~ K B D T M D 0 .	ファンクションコード送信 切 ファンクションコード送信を切にします。	










4.5 RS232C インターフェイス

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ 2 3 2 D F T .	RS232C インターフェイス デフォルト	


4.5.1 ボーレートの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ 2 3 2 B A D 0 .	300bps	
 ~ 2 3 2 B A D 1 .	600bps	
 ~ 2 3 2 B A D 2 .	1,200bps	
 ~ 2 3 2 B A D 3 .	2,400bps	
 ~ 2 3 2 B A D 4 .	4,800bps	
 ~ 2 3 2 B A D 5 .	9,600bps	■
 ~ 2 3 2 B A D 6 .	19,200bps	
 ~ 2 3 2 B A D 7 .	38,400bps	
 ~ 2 3 2 B A D 8 .	57,600bps	
 ~ 2 3 2 B A D 9 .	115,200bps	

4.5.2 データフォーマットの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ 2 3 2 W R D 3 .	データビット 7 ストップビット 1 パリティ 偶数	
 ~ 2 3 2 W R D 0 .	データビット 7 ストップビット 1 パリティ 無し	
 ~ 2 3 2 W R D 6 .	データビット 7 ストップビット 1 パリティ 奇数	
 ~ 2 3 2 W R D 4 .	データビット 7 ストップビット 2 パリティ 偶数	
 ~ 2 3 2 W R D 1 .	データビット 7 ストップビット 2 パリティ 無し	
 ~ 2 3 2 W R D 7 .	データビット 7 ストップビット 2 パリティ 奇数	
 ~ 2 3 2 W R D 5 .	データビット 8 ストップビット 1 パリティ 偶数	
 ~ 2 3 2 W R D 2 .	データビット 8 ストップビット 1 パリティ 無し	■
 ~ 2 3 2 W R D 8 .	データビット 8 ストップビット 1 パリティ 奇数	


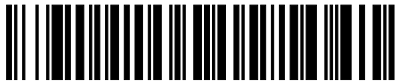
4.5.3 RTS/CTS ハンドシェイクの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ 2 3 2 C T S 1 .	RTS/CTS ハンドシェイク オフ (タイムアウト無し)	
 ~ 2 3 2 C T S 3 .	RTS/CTS ハンドシェイク オフ (タイムアウト有り)	
 ~ 2 3 2 C T S 0 .	RTS/CTS ハンドシェイク オフ	■
 ~ 2 3 2 D E L .	RTS/CTS ハンドシェイクタイムアウト 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 1~5100 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	1000 (1 秒)
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.5.4 ACK/NAK ハンドシェイクの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ 2 3 2 A C K 1 .	ACK/NAK ハンドシェイク オン	
 ~ 2 3 2 A C K 0 .	ACK/NAK ハンドシェイク オフ	■
 ~ 2 3 2 D L K .	<u>ACK/NAK ハンドシェイクタイムアウト</u> 左記のコマンドバーコード をスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 1~65535 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコード をスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	2000 (2 秒)
 ~ H S T R T N .	<u>NAK リトライ回数</u> 左記のコマンドバーコード をスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~255 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコード をスキャンします。推奨値は、5 です。	0
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.5.4 XON/XOFF ハットシフトの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ 2 3 2 X O N 1 .	XON/XOFF ハットシフト ON	
 ~ 2 3 2 X O N 0 .	XON/XOFF ハットシフト OFF	■

4.6 USB バーチャル COM インターフェイス

4.6.1 RTS/CTS ハンドシェイクの設定








コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ U S B C T S 1 .	RTS/CTS ハンドシェイク オフ	
 ~ U S B C T S 0 .	RTS/CTS ハンドシェイク オン	■

4.6.2 ACK/NAK ハンドシェイクの設定

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 ~ U S B A C K 1 .	ACK/NAK ハンドシェイク ON	
 ~ U S B A C K 0 .	ACK/NAK ハンドシェイク OFF	■
 ~ 2 3 2 D L K .	ACK/NAK ハンドシェイクタイムアウト 左記のコマンドバ-コードをスキャンし、続けて「数値バ-コード表」から設定したい値を 1~65535 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	2000 (2 秒)
 ~ H S T R T N .	NAK リトライ回数 左記のコマンドバ-コードをスキャンし、続けて「数値バ-コード表」から設定したい値を 0~255 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。推奨値は、5 です。	0
数値バ-コード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.7 Bluetooth インターフェイス

4.7.1 〆-ステーション接続の設定

コマンド 〆-コード	説明	デフォルト
 ~ R E S E T _ .	ワイヤレススキャナリセット ワイヤレススキャナをリセットします。	
 ~ B T _ R M V .	リンク解除 ワイヤレススキャナと〆-ステーションのリンクを解除します。	
 ~ : * : B A S L N K 0 .	充電専用モード 〆-ステーションの無線をオにします。	
 ~ : * : B A S L N K 1 .	充電&無線リンクモード 〆-ステーションの無線をオにします。	
 ~ : * : B A S C O N 0 .	ロックモード (シングルスキャナ) ロックモードに設定します。1つの〆-ステーションに1台のワイヤレススキャナを接続できます。但し、オープンリンクモードと異なり、新しいワイヤレススキャナを〆-ステーションにセトしても、リンクが新たに確立されることはありません。	■
 ~ : * : B A S C O N 1 .	オープンリンクモード (シングルスキャナ) オープンリンクモードに設定します。1つの〆-ステーションに1台のワイヤレススキャナを接続できます。 <u>ロックモードと異なり、新しいスキャナを〆-ステーションにセトすると、そのスキャナとリンクが新たに確立されます。</u>	
 ~ B T _ R P L 1 .	強制再リンク(ロックモード) ロックモードで、強制的に新しいワイヤレススキャナとリンクを確立します。	

4.7.2 自動再リッの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B T _ A C M 1 .	自動再リッ 初	■
 ~ B T _ A C M 0 .	自動再リッ 初	
 ~ B T _ M L A .	最大リッ試行回数 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~100 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
 ~ B T _ R L T .	再リッタイムアウト 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 1~100 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。 設定単位は、秒です。	3
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

- ✓ 最大リッ試行回数内に再リッが確立できなかった場合、ワイヤレスキャは再リッ試行を中止します。再度、再リッを試行したい場合は、ワイヤレスキャのトリガを引くか、ワイヤレスキャをベースユニットにセットします。これにより、最大リッ試行回数カウンタが 0 にリセットされます。
- ✓ 最大リッ試行回数を 0 に設定した場合は、パワータイムアウト(「4.8.2 パワータイムアウトの設定」を参照)で設定された時間が適用されます。
- ✓ 再リッタイムアウトは、再リッを試行する間隔を意味します。

4.7.3 通信圏外アラームの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B T _ O R D .	ワイヤレス通信圏外アラーム時間 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい設定したい値を 0~3,000 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、秒です。	0 (無し)
 ~ B T _ O R W .	ワイヤレス通信圏外アラームタイプ 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい設定したい値を 0~7 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	











4.7.4 通信圏外メモリ機能バッチモードの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B A T E N A 1 .	<u>通信圏外メモリ機能 ON</u> ワイヤレスキャナが通信圏外で読み取ったデータをフラッシュメモリにメモリします。メモリされた読取データは、ワイヤレスキャナが通信圏内に戻った時点で、自動送信されます。	■
 ~ B A T E N A 0 .	<u>通信圏外メモリ機能 OFF</u> ワイヤレスキャナが通信圏外で読み取ったデータは保存されません。	
 ~ B A T E N A 2 .	<u>バッチモード ON</u> ワイヤレスキャナは通信圏内・圏外に関係なく、読み取ったデータをフラッシュメモリにメモリします。メモリされた読取データは、ワイヤレスキャナをバーステーションにセットするか、「メモリデータ送信」コマンドバーコードがスキャンすると、送信されます。	
 ~ B A T D L Y 0 .	メモリデータ送信デレイ 0 (無し)	■
 ~ B A T D L Y 250 .	メモリデータ送信デレイ 250 ミリ秒	
 ~ B A T D L Y 500 .	メモリデータ送信デレイ 500 ミリ秒	
 ~ B A T D L Y 1000 .	メモリデータ送信デレイ 1,000 ミリ秒	

- ✓メモリデータ送信デレイは、メモリされた読取データを送信する際に、各読取データ間に挿入されるデレイです。
- ✓メモリが一杯になると、イラビーツを鳴動し、これ以上メモリできないことをホールドに知らせます。メモリ内の読取データの送信を行ってください。

4.7.4.1 バッチモードの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B A T Q T Y 1 .	数量モード 加 数量モード を加にします。 例えば、XYZ というコードを 3 回スキャンすると、XYZ, 0003 というデータが出力されます。また、コードをスキャンした後、次頁の数量バーコードで直接数量データを入力・編集することができます。	
 ~ B A T Q T Y 0 .	数量モード 加 数量モード を加にします。 例えば、XYZ というコードを 3 回スキャンすると、XYZ というデータが 3 件出力されます。	■
 ~ B A T L I F 0 .	出力データ送信 FIFO	■
 ~ B A T L I F 1 .	出力データ送信 LIFO	
 ~ B A T U N D .	最終出力データ削除	
 ~ B A T C L R .	出力データ全削除	
 ~ B A T _ T X .	出力データ送信	

数量バ-コード	
 ~ B A T N U M 0 . 0	 ~ B A T N U M 1 . 1
 ~ B A T N U M 2 . 2	 ~ B A T N U M 3 . 3
 ~ B A T N U M 4 . 4	 ~ B A T N U M 5 . 5
 ~ B A T N U M 6 . 6	 ~ B A T N U M 7 . 7
 ~ B A T N U M 8 . 8	 ~ B A T N U M 9 . 9

数量バ-コードの使い方

目的のコードを読み取った後、1~9999(デフォルト値 1)の範囲で数量バ-コードをスキャンします。

例 1) 数量データを 5 としたい場合

1. 目的のコードをスキャン
2. 数量バ-コード「5」をスキャン









例 2) 数量データを 1500 としたい場合

3. 目的のコードをスキャン
4. 数量バ-コードを「1」→「5」→「0」→「0」の順でスキャン

例 3) 数量データを 103 を 10 に変更したい場合

1. 数量バ-コード「0」をスキャン (数量データが 0103 → 1030 となる)
2. 数量バ-コード「0」をスキャン (数量データが 1030 → 0300 となる)
3. 数量バ-コード「1」をスキャン (数量データが 0300 → 3001 となる)
4. 数量バ-コード「0」をスキャン (数量データが 3001 → **0010** となる)

4.7.5 ワイヤレスキャチ名の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~BT_NAM0001.	ワイヤレスキャチ名「0001」	
 ~BT_NAM0002.	ワイヤレスキャチ名「0002」	
 ~BT_NAM0003.	ワイヤレスキャチ名「0003」	
 ~BT_NAM0004.	ワイヤレスキャチ名「0004」	
 ~BT_NAM0005.	ワイヤレスキャチ名「0005」	
 ~BT_NAM0006.	ワイヤレスキャチ名「0006」	
 ~BT_NAM0007.	ワイヤレスキャチ名「0007」	
 ~RESET_.	リセット ワイヤレスキャチをリセットし、バーステーションと再リンクします。	

- ✓ワイヤレスキャチ名は、シリアルコマンド (5. シリアルコマンド 参照) のポケット内で使用します。
- ✓ワイヤレスキャチ名を設定した場合は、必ずリセットを行って下さい。
- ✓バーステーションに複数の同一ワイヤレスキャチ名がリンクしている場合は、最初にリンク確立したワイヤレスキャチがシリアルコマンドを受信します。
- ✓任意のワイヤレスキャチ名を設定する場合は、次頁をご利用下さい。

コマンドバーコード	説明	デフォルト	
 ~ B T _ N A M .	<u>スキャナ名 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「英数字バーコード表」から設定したい10桁迄のスキャナ名をスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。 例えば、スキャナ名を ABCD とする場合、ABCD「確定」の順でスキャンします。		
 ~ R E S E T _ .	<u>リセット</u> スキャナをリセットし、パワーステーションと再リンクします。		
英数字バーコード表			
 0	 1	 2	 3
 4	 5	 6	 7
 8	 9	 A	 B
 C	 D	 E	 F
 G	 H	 I	 J
 K	 L	 M	 N
 O	 P	 Q	 R
 S	 T	 U	 V
 W	 X	 Y	 Z
 確定		 破棄	

- ✓ワイヤレススキャナ名は、リアルコマンド (5. リアルコマンド 参照)のパッケージ内で使用します。
- ✓ワイヤレススキャナ名を設定した場合は、必ずリセットを行って下さい。
- ✓パワーステーションに複数の同一ワイヤレススキャナ名がリンクしている場合は、最初にリンク確立したワイヤレススキャナがリアルコマンドを受信します。




























4.7.6 ワークグループ番号の設定

ワイヤレスキャナにワークグループ番号を設定することで、ワークグループ毎に異なるパラメータ設定値を持たせることができます。また、ワークグループ番号指定して、ホスト ESC コマンド（「4.7.10 ホスト ESC コマンドの設定」を参照）を送信し、各ワイヤレスキャナのビームや LED を制御することが可能になります。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ G R P S E L 0 .	ワークグループ番号「0」	■
 ~ G R P S E L 1 .	ワークグループ番号「1」	
 ~ G R P S E L 2 .	ワークグループ番号「2」	
 ~ G R P S E L 3 .	ワークグループ番号「3」	
 ~ G R P S E L 4 .	ワークグループ番号「4」	
 ~ G R P S E L 5 .	ワークグループ番号「5」	
 ~ G R P S E L 6 .	ワークグループ番号「6」	

✓ワークグループは、ペアステーションと接続する場合に有効です。他の Bluetooth デバイスでは使用できません。

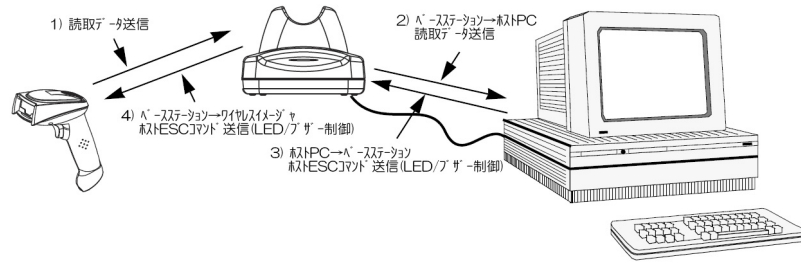
4.7.7 SPP 接続の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト	
 ~ B T _ D N G 9 .	バーステーション接続	■	
 ~ B T _ D N G 8 .	Bluetooth デバイス SPP 接続		
 ~ B T _ P I N .	<u>PIN コード 設定開始</u> 左記のコマンドバーコード をスキャンし、続けて「英数字バーコード表」から設定したい 16 桁迄の PIN コード をスキャンし、最後に「確定」バーコード をスキャンします。 例えば、PIN コード を 123456 とする場合、123456「確定」の順でスキャンします。	1234	
 ~ B T _ R M V .	<u>SPP 接続解除</u> SPP 接続を解除します。		
英数字バーコード表			
 0	 1	 2	 3
 4	 5	 6	 7
 8	 9	 A	 B
 C	 D	 E	 F
 G	 H	 I	 J
 K	 L	 M	 N
 O	 P	 Q	 R
 S	 T	 U	 V
 W	 X	 Y	 Z
 確定		 破棄	

- ✓ 複数のスキャナを1つの仮想 COM ポートに接続することはできません。
- ✓ 通信圏外から通信圏内に戻った場合でも、自動的に再接続はできません。

4.7.8 ホスト ESC コマンドの設定

ホスト ESC コマンド をおこなうことで、PC からワイヤレスキャナの LED やブザーを制御することが可能になります。例えば、PC 側で読取データをデータバスと照合検査し、合致しない場合、ホスト側に対して、エラー状態を知らせることができます。また、1つのホストステーションに対して、複数のワイヤレスキャナをリンクさせている場合でも、各ワイヤレスキャナにワークグループ番号を割り当てることで、個別にホスト ESC コマンドを送信することができます。



ホスト ESC コマンド パケットフォーマット		
ワークグループ番号(1バイト)	ESC コマンド (可変長)	ターミネータ(1バイト)
0(0x30) ~ 6(0x36)	<ESC> a	, (0x2C)
例) ワークグループ番号0のワイヤレスキャナに対して、<ESC>5<ESC>6 コマンドを送信 送信パケット: 0<ESC>5<ESC>6, <ESC>=0x1B		
コマンドリスト		
<ESC>a	パラメータ変更成功時と同じ動作, ビープ(ピッ) + 緑色 LED1 回点滅	
<ESC>b	パラメータ変更失敗時と同じ動作, ビープ(ブープブープ) + 赤色 LED 3 回点滅	
<ESC>1	緑色 LED 135 ミリ秒間点灯(連続点灯時は、70 ミリ秒以上の間隔要)	
<ESC>2	緑色 LED 2 秒間点灯(連続点灯時は、500 ミリ秒以上の間隔要)	
<ESC>3	緑色 LED 5 秒間点灯(連続点灯時は、500 ミリ秒以上の間隔要)	
<ESC>4	低音ビープを 1 回鳴動	
<ESC>5	中音ビープを 1 回鳴動	
<ESC>6	高音ビープを 1 回鳴動	
<ESC>7	読取/通信 OK, ビープ(ピッ) + 緑色 LED1 回点滅	
<ESC>8	読取/通信 NG(<ESC>b 同等), ビープ(ブープブープ) + 赤色 LED 3 回点滅	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ H S T A C K 1 .	ホスト ESC コマンド ACK 1 ワイヤレスキャナは読取データ送信後、ホスト ESC コマンド受信待ちになります。ホスト ESC コマンドを受信すれば、その動作を行った後、次のコード読み取りに移ります。10 秒以内に受信できなければ、タイムアウトとなり、エラービープを鳴動します。	
 ~ H S T A C K 0 .	ホスト ESC コマンド ACK 0	■

- ✓ホスト ESC コマンド は、RS232C/USB パーチャル COM インターフェイスで使用できます。
- ✓RS232C インターフェイスの場合は、ポートを 9,600bps 以下に設定してください。

4.8 インデキータ



4.8.1 パワーアップブザーの設定














コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B E P P W R 1 .	パワーアップブザー オン	■
 ~ B E P P W R 0 .	パワーアップブザー オフ	

4.8.2 BEL 受信ブザーの設定

















コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B E L B E P 1 .	BEL 受信ブザー オン	
 ~ B E L B E P 0 .	BEL 受信ブザー オフ	■

4.8.3 グットリードブザーの設定

コマンドバースト	説明	デフォルト
 ~ B E P B E P 1 .	グットリードブザー 小	■
 ~ B E P B E P 0 .	グットリードブザー 小	
 ~ B E P L V L 0 .	ブザー音量 無し	
 ~ B E P L V L 1 .	ブザー音量 小	
 ~ B E P L V L 2 .	ブザー音量 中	
 ~ B E P L V L 3 .	ブザー音量 大	■
 ~ B E P F Q 1 1 6 0 0 .	ブザー周波数 1,600Hz	
 ~ B E P F Q 1 4 2 0 0 .	ブザー周波数 4,200Hz	
 ~ B E P F Q 1 2 3 5 0 .	ブザー周波数 2,350Hz	■
 ~ B E P B I P 0 .	ブザー長 ノーマル	■
 ~ B E P B I P 1 .	ブザー長 ショート	
 ~ B E P W H N 1 .	データ送信前に鳴動	■
 ~ B E P W H N 2 .	データ送信後に鳴動	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B E P R P T .	グッドリードプザ-LED回数設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい回数を1~9の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	1
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.8.4 エアプザ-の設定

マツドバ-コード	説明	デフォルト
 ~ B E P F Q 2 1 0 0 .	プザ-周波数 100Hz	■
 ~ B E P F Q 2 2 0 0 0 .	プザ-周波数 2,000Hz	
 ~ B E P F Q 2 4 2 0 0 .	プザ-周波数 4,200Hz	
 ~ B E P E R R .	エアプザ-/LED 回数設定開始 左記のマツドバ-コード をスキャンし、続けて「数値バ-コード表」から設定したい回数を 1~9 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コード をスキャンします。	1
数値バ-コード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.8.5 LED インディケータの設定

4.8.5.1 LED 状態の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ L E D F N 1 0 .	赤色 LED 点	
 ~ L E D F N 1 1 .	赤色 LED 点(グッドリード)	
 ~ L E D F N 1 2 .	赤色 LED 点(レーザー照射)	■
 ~ L E D F N 1 4 .	赤色 LED 点(CodeGate 無効時)	
 ~ L E D F N 1 8 .	赤色 LED 点(スタートセット時)	
 ~ L E D F N 1 1 2 8 .	赤色 LED 点(CTS アクティブ)	
 ~ L E D F N 2 0 .	緑色 LED 点	
 ~ L E D F N 2 1 .	緑色 LED 点(グッドリード)	■
 ~ L E D F N 2 2 .	緑色 LED 点(レーザー照射)	
 ~ L E D F N 2 4 .	緑色 LED 点(CodeGate 無効時)	
 ~ L E D F N 2 8 .	緑色 LED 点(スタートセット時)	
 ~ L E D F N 2 1 2 8 .	緑色 LED 点(CTS アクティブ)	

4.8.5.2 LED 輝度の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ L E D I N 1 0 .	赤色 LED 初	
 ~ L E D I N 1 1 .	赤色 LED 低輝度	
 ~ L E D I N 1 2 .	赤色 LED 中輝度	
 ~ L E D I N 1 3 .	赤色 LED 高輝度	■
 ~ L E D I N 2 0 .	緑色 LED 初	
 ~ L E D I N 2 1 .	緑色 LED 低輝度	
 ~ L E D I N 2 2 .	緑色 LED 中輝度	
 ~ L E D I N 2 3 .	緑色 LED 高輝度	■

4.8 スキャナオプション

4.8.1 プレゼンテーションモードの設定

デフォルトでは、スキャナは、スタンドにセットすると、自動的にバーコードを検知して読み取りを行います。スタンドから取り外すと、トリガボタンを押して読み取るモードに移行します。下記のコマンドバーコードでスキャナの動作を変更することができます。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P A P P M 1 .	<p><u>プレゼンテーションモード</u> (<u>Out-of-Stand</u>)</p> スタンドから取り外した状態でも自動的にバーコードを検知して読み取りを行い、データをホストへ送信します。読み取り終了後、レーザーをオフにします。	
 ~ P A P P M 2 .	<p><u>プレゼンテーションモード</u> (<u>CodeGate Out-of-Stand</u>)</p> スタンドから取り外した状態でも自動的にバーコードを検知してデコードを行います。トリガボタンが押されるまでデータをホストへ送信しません。データ送信が行われるまで、レーザーは照射され続けます。	

4.8.2 マニュアルアクティブ-ションモードの設定

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
~ A I S M E N 0 .	マニュアルアクティブ-ションモード オフ (In-Stand)	■
~ A I S M E N 1 .	マニュアルアクティブ-ションモード オン (In-Stand)	
~ A O S O E N 0 .	マニュアルアクティブ-ションモード オフ (Out-of-Stand)	
~ A O S M E N 0 .	マニュアルアクティブ-ションモード オン (Out-of-Stand)	■
~ A I S M G D 0 .	イント マニュアルアクティブ-ションモード オフ (In-Stand)	
~ A I S M G D 1 .	イント マニュアルアクティブ-ションモード オン (In-Stand)	■
~ A O S M G D 0 .	イント マニュアルアクティブ-ションモード オフ (Out-of-Stand)	
~ A O S M G D 1 .	イント マニュアルアクティブ-ションモード オン (Out-of-Stand)	■

マニュアルアクティブ-ションモード

カに設定すると、トリガ ボタンを押している間、バ-コードの読み取りを行います。データを読み取るか、トリガ ボタンを離すと、読み取りを終了します。マニュアルアクティブ-ションユーザ タイムアウトを設定した場合は、その時間が経過すると読み取りを終了します。

イント マニュアルアクティブ-ションモード





カに設定すると、バ-コードの読み取りに成功すると、レーザをカにします。カに設定すると、レーザはカ状態を保ちますが、次の読み取りを行う場合は、トリガ ボタンを押す必要があります。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 <p>~ A I S M P T .</p>	<p><u>マニュアルアクティベーション/シャッター タイムアウト (トリガ ボタンホールド & In-Stand)</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~65,535 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。</p>	5000
 <p>~ A O S M P T .</p>	<p><u>マニュアルアクティベーション/シャッター タイムアウト (トリガ ボタンホールド & Out-of-Stand)</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~65,535 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。</p>	30000
 <p>~ A I S M R T .</p>	<p><u>マニュアルアクティベーション/シャッター タイムアウト (トリガ ボタンリリース & In-Stand)</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~65,535 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。</p>	0
 <p>~ A O S M R T .</p>	<p><u>マニュアルアクティベーション/シャッター タイムアウト (トリガ ボタンリリース & Out-of-Stand)</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~65,535 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。</p>	0
数値バーコード表		
 <p>0</p>	 <p>1</p>	
 <p>2</p>	 <p>3</p>	
 <p>4</p>	 <p>5</p>	
 <p>6</p>	 <p>7</p>	
 <p>8</p>	 <p>9</p>	
 <p>確定</p>	 <p>破棄</p>	

4.8.3 CodeGate[®] モードの設定









CodeGate モードを有効に設定した場合、スキャナはトリガボタンが押される迄、読み取りデータをホストへ送信しません。有効にした場合は、バーコードを読み取ると直ちにデータをホストへ送信します。

CoGate モードは、横並びに近接したバーコードの中から目的のバーコードを確実に読み取りたい場合に有効なモードです。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ A I S C G D 0 .	CodeGate モード 有効(In-Stand)	■
 ~ A I S C G D 1 .	CodeGate モード 有効(In-Stand)	
 ~ A O S C G D 0 .	CodeGate モード 有効(Out-of-Stand)	
 ~ A O S C G D 1 .	CodeGate モード 有効(Out-of-Stand)	■







4.8.4 オブジェクト検出モードの設定

オブジェクト検出モードをオに設定すると、スキャナは内蔵 LED でオブジェクトを自動的に検出し、バーコードの読み取りを行います。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ A I S O E N 0 .	オブジェクト検出モード オ (In-Stand)	
 ~ A I S O E N 1 .	オブジェクト検出モード オ (In-Stand)	■
 ~ A O S O E N 0 .	オブジェクト検出モード オ (Out-of-Stand)	■
 ~ A O S O E N 1 .	オブジェクト検出モード オ (Out-of-Stand)	
 ~ A I S M G D 0 .	インドオブジェクト検出モード オ (In-Stand)	
 ~ A I S M G D 1 .	インドオブジェクト検出モード オ (In-Stand)	■
 ~ A O S M G D 0 .	インドオブジェクト検出モード オ (Out-of-Stand)	
 ~ A O S M G D 1 .	インドオブジェクト検出モード オ (Out-of-Stand)	■








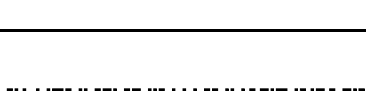
インドオブジェクト検出モード

オに設定すると、バーコードの読み取りに成功すると、レーザをオにします。オに設定すると、レーザはオ状態を保ちます。

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 ~ A I S O D T .	ガゼクト検出レザタイムアウト (In-Stand) 左記のコマンドバ-コードをスキャンし、続けて「数値バ-コード表」から設定したい値を 0~65,535 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	5000
 ~ A O S O D T .	ガゼクト検出レザタイムアウト (Out-of-Stand) 左記のコマンドバ-コードをスキャンし、続けて「数値バ-コード表」から設定したい値を 0~65,535 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	5000
 ~ A I S R N G 2 .	ガゼクト検出距離 短い (In-Stand)	■
 ~ A I S R N G 1 .	ガゼクト検出距離 長い (In-Stand)	
 ~ A O S R N G 2 .	ガゼクト検出距離 短い (Out-of-Stand)	
 ~ A O S R N G 1 .	ガゼクト検出距離 長い (Out-of-Stand)	■
数値バ-コード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	



















4.8.5 キャラクタアクティブ-ションモードの設定

キャラクタアクティブ-ションモードをオに設定すると、スキャナはホストからの指定キャラクタ受信で、バーコードの読み取りを行います。キャラクタデアクティブ-ションモードをオにすれば、指定キャラクタ受信で、バーコードの読み取りを終了することができます。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ H S T C E N 0 .	キャラクタアクティブ-ションモード オ	■
 ~ H S T C E N 1 .	キャラクタアクティブ-ションモード オフ	
 ~ H S T C G D 0 .	エンドキャラクタアクティブ-ションモード オ	
 ~ H S T C G D 1 .	エンドキャラクタアクティブ-ションモード オフ	■
 ~ H S T D E N 0 .	キャラクタデアクティブ-ションモード オ	■
 ~ H S T D E N 1 .	キャラクタデアクティブ-ションモード オフ	
 ~ H S T A C H .	<u>アクティブ-ションキャラクタ</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて次頁の「英数字バーコード表」から設定したいキャラクタ値を16進数でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	
 ~ H S T D C H .	<u>デアクティブ-ションキャラクタ</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて次頁の「英数字バーコード表」から設定したいキャラクタ値を16進数でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	
 ~ H S T C D T .	<u>キャラクタアクティブ-ションタイムアウト</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~65,535の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	5000

エンドキャラクタアクティブ-ションモード

オに設定すると、バーコードの読み取りに成功すると、レーザをオにします。オフに設定すると、レーザはオフ状態を保ちます。

数值・英数字パ -コード 表	
 0	 1
 2	 3
 4	 5
 6	 7
 8	 9
 A	 B
 C	 D
 E	 F
 確定	 破棄

4.8.5 同一コード読取デレイの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~DLYRRD500.	同一コード読取デレイ 500 ミ秒 同一コードを読み取る迄の間隔を 500 ミ秒に設定します。	
 ~DLYRRD750.	同一コード読取デレイ 750 ミ秒 同一コードを読み取る迄の間隔を 750 ミ秒に設定します。	■
 ~DLYRRD1000.	同一コード読取デレイ 1,000 ミ秒 同一コードを読み取る迄の間隔を 1,000 ミ秒に設定します。	
 ~DLYRRD2000.	同一コード読取デレイ 2,000 ミ秒 同一コードを読み取る迄の間隔を 2,000 ミ秒に設定します。	
 ~DLYRRD.	同一コード読取デレイ 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続 けて「数値バーコード表」から設定 したい値を 0~30,000 の範囲でス キャンし、最後に「確定」バーコードをス キャンします。設定単位は、ミ秒です。	750
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.9 データ送信

4.9.7 データ送信シークスの設定

データ送信シークスを設定することにより、複数の読取データを設定された規則に従って、常に同じフォーマット(順序)でホストへ送信することが可能になります。

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 ~ S E Q B L K .	<u>データ送信シークス</u> 下記に設定手順を示します。 1. 左記のコマンドバースコードをスキャン 2. 対象となるシボルのコード ID (本書「A.5 コード ID 表」参照) を「英数字バースコード表」からスキャン 3. 条件を適用したいシボルの桁数を 0000~9999 の範囲で「数値バースコード表」からスキャン (50 桁=0050, 可変長=9999) 4. 条件を適用したいシボルの先頭キャラクタを「英数字バースコード表」からスキャン (A=41hex, 任意=99) 5. シークスの区切りを意味する FF を「英数字バースコード表」からスキャン 6. 次のシークスを設定する場合は、2~6 を繰り返します。 シークス設定確定する場合は、最後に「確定」をスキャンします。	
 ~ S E Q D F T .	<u>データ送信シークス デフォルト</u> データ送信シークスの設定をデフォルトに戻します。	
 ~ S E Q _ E N 2 .	<u>データ送信シークス エクスループ</u> データ送信シークスを必ず適用して、データを送信します。設定規則に当てはまらないデータは破棄します。	
 ~ S E Q _ E N 1 .	<u>データ送信シークス 初</u> データ送信シークスを適用しますが、設定規則に当てはまらないデータを読み取った場合は、そのままデータを送信します。	
 ~ S E Q _ E N 0 .	<u>データ送信シークス 初</u> 読取データをそのまま送信します。	













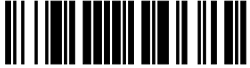




例えば、下記に示す多段バーコードを[コード 39][コード 128][コード 93]の順で必ず送信したい場合、次の手順でデータ送信シークスを設定します。

「データ送信シークス設定開始」 → 62 9999 41 FF → 6A 9999 42 FF → 69 9999 43 FF → 「確定」

① ② ③

① コード ID = 62(コード 39), 桁数 9999(可変長), 先頭キャラクタ 41(A), シークス区切り FF
 ② コード ID = 6A(コード 128), 桁数 9999(可変長), 先頭キャラクタ 42(B), シークス区切り FF
 ③ コード ID = 69(コード 93), 桁数 9999(可変長), 先頭キャラクタ 43(C), シークス区切り FF
 ④ 確定
 ⑤ データ送信シークス エクスルト

数値・英数字バーコード表	
 0	 1
 2	 3
 4	 5
 6	 7
 8	 9
 A	 B
 C	 D
 E	 F
 確定	 破棄

コマンドバ-コード	説明	デ-フォルト
 ~ S E Q B E P 0 .	デ-ータ送信ソ-ケツビ-フ-カ	
 ~ S E Q B E P 1 .	デ-ータ送信ソ-ケツビ-フ-カ デ-ータ送信ソ-ケツに合うデ-ータを読み取るとビ-フ-を鳴動します。	■
 ~ S E Q T T S 0 .	デ-ータ送信ソ-ケツ 分割送信 カ デ-ータ送信ソ-ケツタイムア-ツが発生した場合、それまでに読み取ったデ-ータを破棄します。	
 ~ S E Q T T S 1 .	デ-ータ送信ソ-ケツ 分割送信 カ デ-ータ送信ソ-ケツタイムア-ツが発生した場合、それまでに読み取ったをデ-ータを破棄します。	
 ~ S E Q D L Y .	デ-ータ送信ソ-ケツタイムア-ツ 左記のコマンドバ-コード をスキャンし、続けて「数値バ-コード表」から設定したい値を 0~65,535 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コード をスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	5000
数値バ-コード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.9.2 ノーリード 送信の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ S H W N R D 1 .	ノーリード 送信 有効 ノーリード「NR」を送信します。	
 ~ S H W N R D 0 .	ノーリード 送信 無効 ノーリード「NR」を送信しません。	■














4.9.3 ファンクションコード 送信の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ R M V F N C 0 .	ファンクションコード 送信 無効	■
 ~ R M V F N C 1 .	ファンクションコード 送信 有効	

4.9.4 チェックキャラクタ送信の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ H S T X R C 0 .	チェックキャラクタ 無し	■
 ~ H S T X R C 1 .	チェックキャラクタ LRC (第1キャラクタから計算)	
 ~ H S T X R C 2 .	チェックキャラクタ LRC (第2キャラクタから計算)	
 ~ H S T X R C 3 .	チェックキャラクタ CRC	















4.9.5 キャラクタ間デレイの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ D L Y C H R .	<u>キャラクタ間デレイ</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~99 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、5ミリ秒です。例えば、20 ミリ秒に設定したい場合は、4 をスキャンします。	0
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

✓ USB バーチャル COM インターフェイスには適用されません。

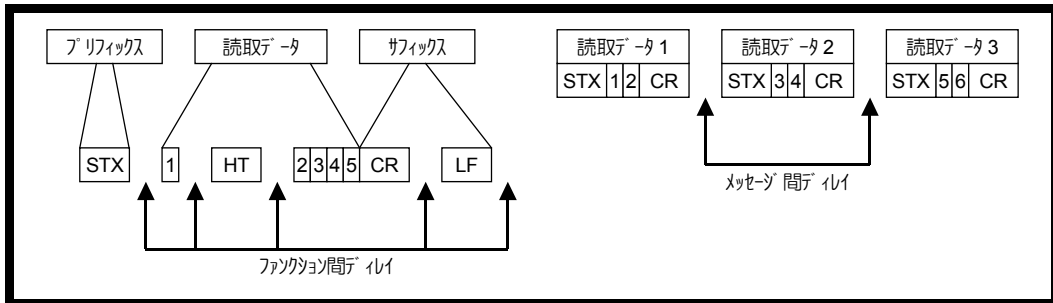
4.9.6 指定キャラクターイルの設定

指定キャラクタの直後に挿入されるデイルです。

コマンドバ-コード	説明	デイルフォルト
 ~ D L Y C R X .	<p><u>指定キャラクターイル</u> 左記のコマンドバ-コード をスキャンし、続けて「数値バ-コード表」から設定したい値を 0~99 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コード をスキャンします。設定単位は、5 ミリ秒です。例えば、20 ミリ秒に設定したい場合は、4 をスキャンします。</p>	0
 ~ D L Y _ X X .	<p><u>指定キャラクタ</u> 左記のコマンドバ-コード をスキャンし、続けて「英数字バ-コード表」から設定したいキャラクタをスキャンし、最後に「確定」バ-コード をスキャンします。例えば、A(41hex)を設定する場合は、41「確定」の順でスキャンします。この指定キャラクタ送信後に、設定されたデイルが実行されます。</p>	
数値・英数字バ-コード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 A	 B	
 C	 D	
 E	 F	
 確定	 破棄	

4.9.7 ファクション間デレイ・メッセージ間デレイの設定

下図に示すように、ファクションキャラクタ(00~1Fhex)が送信された後に実行されるデレイがファクション間デレイ、読取データ間に実行されるデレイがメッセージ間デレイです。



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ D L Y F N C .	<u>ファクション間デレイ</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~99 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、5ミリ秒です。例えば、20 ミリ秒に設定したい場合は、4 をスキャンします。	0
 ~ D L Y M S G .	<u>メッセージ間デレイ</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~99 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、5ミリ秒です。例えば、20 ミリ秒に設定したい場合は、4 をスキャンします。	0
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.9.8 プリフィックス/サフィックスの設定

下記に示すように、読取データの前後にそれぞれ 1~11 文字までの任意のプリフィックス及びサフィックスを付加して送信することができます。





















プリフィックス	読取データ	サフィックス
無し又は 1~11 文字	可変長	無し又は 1~11 文字

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P R E B K 2 .	<u>プリフィックス</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、対象となるシボールのコード ID(本書「A.5 コード ID 表」参照)を「英数字バーコード表」からスキャンし、続けて設定したい 11 文字までのプリフィックスをスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。 例えば、全シボール(99)を対象にプリフィックスを 123 とする場合、各キャラクタを 16 進数に変換し、99313233「確定」の順でスキャンします。	無し
 ~ P R E C A 2 .	<u>全プリフィックスクリア</u> 設定されている全プリフィックスをクリアします。	
 ~ S U F B K 2 .	<u>サフィックス</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、対象となるシボールのコード ID(本書「A.5 コード ID 表」参照)を「英数字バーコード表」からスキャンし、続けて設定したい 11 文字までのプリフィックスをスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。 例えば、全シボール(99)を対象にサフィックスを TAB(09hex)とする場合、9909「確定」の順でスキャンします。	無し
 ~ S U F C A 2 .	<u>全サフィックスクリア</u> 設定されている全サフィックスをクリアします。	
 ~ V S U F C R .	<u>全サフィックス CR(キャリッジリターン)</u> 設定されている全サフィックスをクリアします。	



- コード ID 送信を指定する場合は、特殊コード 5C80 をスキャンします。
- AIM ID 送信を指定する場合は、特殊コード 5C81 をスキャンします。
- ¥マーク(バックslash)送信を指定する場合は、特殊コード 5C81 をスキャンします。

例)全シボール(99)のプリフィックスをコード ID に設定する場合、下記の順でスキャンします。

「プリフィックス」 995C80 「確定」

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 ~ P R E C L 2 .	対象プリフィックス クリア 左記のコマンドバ-コードをスキャン後、対象となるツボ-ルのコード ID(本書「A.5 コード ID 表」参照)を「英数字バ-コード表」からスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。	
 ~ S U F C L 2 .	対象サフィックス クリア 左記のコマンドバ-コードをスキャン後、対象となるツボ-ルのコード ID(本書「A.5 コード ID 表」参照)を「英数字バ-コード表」からスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。	
英数字バ-コード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 A	 B	
 C	 D	
 E	 F	
 確定	 破棄	

拡張キーボードコードの送信

コマンドコード	説明	デフォルト
 ~ K B D E X T 0 .	拡張キーボードコード送信 切 下記の拡張キーボードコード対応表が適用されます。	■
 ~ K B D E X T 1 .	拡張キーボードコード送信 切	

例) 拡張キーボードコード

全ソール(99)のスイッチを Page Down(89hex)に設定する場合、下記の順でスキャンします。

「スイッチ」 9989 「確定」

- ※ 拡張キーボードコード送信が切の場合は、%。(89hex)が送信されます。
- ※ 一部の PC では、キーボードコードが正しく入力できない場合があります。

Dec	Hex	キーボードコード	Dec	Hex	キーボードコード
128	80	↑	152	98	F9
129	81	↓	153	99	F10
130	82	→	154	9A	F11
131	83	←	155	9B	F12
132	84	Insert	156	9C	+ (テンキーハット)
133	85	Delete	157	9D	- (テンキーハット)
134	86	Home	158	9E	* (テンキーハット)
135	87	End	159	9F	Caps Lock
136	88	Page Up	160	A0	Num Lock
137	89	Page Down	161	A1	左 Alt
138	8A	右 Alt	162	A2	左 Ctrl
139	8B	右 Ctrl	163	A3	左 Shift
140	8C	Reserved	164	A4	右 Shift
141	8D	Reserved	165	A5	Print Screen
142	8E	Enter (テンキーハット)	166	A6	Tab
143	8F	/ (テンキーハット)	167	A7	Shift Tab
144	90	F1	168	A8	Enter
145	91	F2	169	A9	Esc
146	92	F3	170	AA	Alt メイク
147	93	F4	171	AB	Alt フレイク
148	94	F5	172	AC	Ctrl メイク
149	95	F6	173	AD	Ctrl フレイク
150	96	F7	174	AE	Alt+1 キャラクタ
151	97	F8	175	AF	Ctrl+1 キャラクタ

4.10 読取シンボル(バーコード)の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ A L L E N A 1 .	<u>全リニアシンボル読み取り オフ</u> 全てのリニアシンボル(バーコード)の読み取りをオフにします。	
 ~ A L L E N A 0 .	<u>全リニアシンボル読み取り オン</u> 全てのリニアシンボル(バーコード)の読み取りをオンにします。	















4.10.1 コーダバー(NW7)の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ C B R D F T .	<u>コーダバー - 全デフォルト</u> コーダバーに関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C B R E N A 1 .	<u>コーダバー - 読み取り 有効</u> コーダバーを読み取ります。	■
 ~ C B R E N A 0 .	<u>コーダバー - 読み取り 無効</u> コーダバーを読み取りません。	
 ~ C B R S S X 1 .	<u>スタート/ストップ 送信 有効</u> スタート/ストップ キャラクタを送信します。	
 ~ C B R S S X 0 .	<u>スタート/ストップ 送信 無効</u> コーダバーのスタート/ストップ キャラクタを送信しません。	■
 ~ C B R C K 2 0 .	<u>チェックサム 有効</u> チェックサム(0x16)検査をしません。	■
 ~ C B R C K 2 1 .	<u>チェックサム 有効/送信 無効</u> チェックサム(0x16)検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ C B R C K 2 2 .	<u>チェックサム 有効/送信 有効</u> チェックサム(0x16)検査及び送信を行います。	
 ~ C B R C K 2 3 .	<u>チェックサム 有効/送信 無効</u> チェックサム(0x7)検査及び送信は行いません。	
 ~ C B R C K 2 4 .	<u>チェックサム 有効/送信 有効</u> チェックサム(0x7)検査及び送信を行います。	
 ~ C B R C K 2 5 .	<u>チェックサム 有効/送信 無効</u> チェックサム(CLSI)検査及び送信は行いません。	
 ~ C B R C K 2 6 .	<u>チェックサム 有効/送信 有効</u> チェックサム(CLSI)検査及び送信を行います。	
 ~ C B R C C T 2 .	<u>連結機能 有効(必須)</u> 連結を行います。連結の無い単独の「D」シボ ルは読み取りません。	
 ~ C B R C C T 1 .	<u>連結機能 無効</u> 連結を行います。連結の無い単独の「D」シボ ルも読み取れます。	

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 ~ C B R C C T 0 .	連結機能 OFF 連結を行いません。	■
 ~ D L Y C C T .	連結機能 ON 左記のコマンドバ-コードをスキャンし、続けて「数値バ-コード表」から設定したい値を 0~65,535 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	750
 ~ C B R V O T .	読取照合回数 左記のコマンドバ-コードをスキャン後、「数値バ-コード表」から設定したい値を 0~10 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。	0
 ~ C B R M I N .	最小桁数 左記のコマンドバ-コードをスキャン後、「数値バ-コード表」から最小桁数を 1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。	3
 ~ C B R M A X .	最大桁数 左記のコマンドバ-コードをスキャン後、「数値バ-コード表」から最大桁数を 1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。	80
数値バ-コード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	













4.10.2 コード 39 の設定

コードバーコード	説明	デフォルト
 ~ C 3 9 D F T .	<u>コード 39 全デフォルト</u> コードバーに関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C 3 9 E N A 1 .	<u>コード 39 読み取り 有効</u> コード 39 を読み取ります。	■
 ~ C 3 9 E N A 0 .	<u>コード 39 読み取り 無効</u> コード 39 を読み取りません。	
 ~ C 3 9 S S X 1 .	<u>スタート/ストップ 送信 有効</u> スタート/ストップ キャラクタを送信します。	
 ~ C 3 9 S S X 0 .	<u>スタート/ストップ 送信 無効</u> コードバーのスタート/ストップ キャラクタを送信しません。	■
 ~ C 3 9 C K 2 0 .	<u>チェックディジット 無効</u> チェックディジット検査をしません。	
 ~ C 3 9 C K 2 1 .	<u>チェックディジット 有効/送信 無効</u> チェックディジット検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ C 3 9 C K 2 2 .	<u>チェックディジット 有効/送信 有効</u> チェックディジット検査及び送信を行います。	
 ~ C 3 9 A S C 1 .	<u>アラスキー読み取り 有効</u> アラスキー読み取りをします。	
 ~ C 3 9 A S C 0 .	<u>アラスキー読み取り 無効</u> アラスキー読み取りをしません。	■
 ~ C 3 9 B 3 2 1 .	<u>コード 32(PARAF)読み取り 有効</u> コード 32(PARAF)を読み取ります。	
 ~ C 3 9 B 3 2 0 .	<u>コード 32(PARAF)読み取り 無効</u> コード 32(PARAF)を読み取りません。	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ C 3 9 V O T .	読取照合回数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
 ~ C 3 9 M I N .	最小桁数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	3
 ~ C 3 9 M A X .	最大桁数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	














4.10.3 インターリーブド 2/5 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ I 2 5 D F T .	インターリーブド 2/5 全デフォルト インターリーブド 2/5 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ I 2 5 E N A 1 .	インターリーブド 2/5 読み取り 有効 インターリーブド 2/5 を読み取ります。	■
 ~ I 2 5 E N A 0 .	インターリーブド 2/5 読み取り 無効 インターリーブド 2/5 を読み取りません。	
 ~ I 2 5 F O L 1 .	Follett フォーマット 有効	
 ~ I 2 5 F O L 0 .	Follett フォーマット 無効	■
 ~ I 2 5 N U L 1 .	NULL キャラクタ 有効	■
 ~ I 2 5 N U L 0 .	NULL キャラクタ 無効	
 ~ I 2 5 C K 2 0 .	チェックサム 無効 チェックサム検査をしません。	■
 ~ I 2 5 C K 2 1 .	チェックサム 有効/送信 無効 チェックサム検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ I 2 5 C K 2 2 .	チェックサム 有効/送信 有効 チェックサム検査及び送信を行います。	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ I 2 5 V O T .	読取照合回数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
 ~ I 2 5 M I N .	最小桁数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	6
 ~ I 2 5 M A X .	最大桁数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.4 NEC 2/5 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ N 2 5 D F T .	<u>NEC 2/5 全デフォルト</u> NEC 2/5 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ N 2 5 E N A 1 .	<u>NEC 2/5 読み取り 有効</u> NEC 2/5 を読み取ります。	■
 ~ N 2 5 E N A 0 .	<u>NEC2/5 読み取り 無効</u> NEC 2/5 を読み取りません。	
 ~ N 2 5 C K 2 0 .	<u>チェックアウト 無効</u> チェックアウト検査をしません。	■
 ~ N 2 5 C K 2 1 .	<u>チェックアウト 送信 無効</u> チェックアウト検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ N 2 5 C K 2 2 .	<u>チェックアウト 送信 有効</u> チェックアウト検査及び送信を行います。	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ N 2 5 V O T .	読取照合回数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
 ~ N 2 5 M I N .	最小桁数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	3
 ~ N 2 5 M A X .	最大桁数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.5 コード 93 の設定










コードバ-コード	説明	デフォルト
 ~ C 9 3 D F T .	コード 93 全デフォルト コード 93 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C 9 3 E N A 1 .	コード 93 読み取り 1 コード 93 を読み取ります。	■
 ~ C 9 3 E N A 0 .	コード 93 読み取り 0 コード 93 を読み取りません。	
 ~ C 9 3 V O T .	読取照合回数 左記のコードバ-コード をスキャン後、「数値バ-コード表」から設定したい値を 0~10 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コード をスキャンします。	0
 ~ C 9 3 M I N .	最小桁数 左記のコードバ-コード をスキャン後、「数値バ-コード表」から最小桁数を 1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コード をスキャンします。	1
 ~ C 9 3 M A X .	最大桁数 左記のコードバ-コード をスキャン後、「数値バ-コード表」から最大桁数を 1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コード をスキャンします。	80
数値バ-コード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.6 スレート 2/5 の設定

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 ~ R 2 5 D F T .	スレート 2/5 全デフォルト スレート 2/5 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ R 2 5 E N A 1 .	スレート 2/5 読み取り <input checked="" type="checkbox"/> スレート 2/5 を読み取ります。	■
 ~ R 2 5 E N A 0 .	スレート 2/5 読み取り <input type="checkbox"/> スレート 2/5 を読み取りません。	
 ~ R 2 5 V O T .	読取照合回数 左記のコマンドバ-コードをスキャン後、「数値バ-コード表」から設定したい値を 0~10 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。	0
 ~ R 2 5 M I N .	最小桁数 左記のコマンドバ-コードをスキャン後、「数値バ-コード表」から最小桁数を 1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。	3
 ~ R 2 5 M A X .	最大桁数 左記のコマンドバ-コードをスキャン後、「数値バ-コード表」から最大桁数を 1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。	80
数値バ-コード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

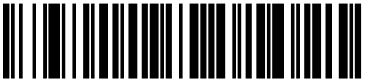













4.10.7 マトリクス 2/5 の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ X 2 5 D F T .	マトリクス 2/5 全デフォルト マトリクス 2/5 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ X 2 5 E N A 1 .	マトリクス 2/5 読み取り 有効 マトリクス 2/5 を読み取ります。	
 ~ X 2 5 E N A 0 .	マトリクス 2/5 読み取り 無効 マトリクス 2/5 を読み取りません。	■
 ~ X 2 5 C K 2 0 .	チェックサム 無効 チェックサム検査をしません。	■
 ~ X 2 5 C K 2 1 .	チェックサム 有効送信 無効 チェックサム検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ X 2 5 C K 2 2 .	チェックサム 有効送信 有効 チェックサム検査及び送信を行います。	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 <p>~ X 2 5 V O T .</p>	<p>読取照合回数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。</p>	0
 <p>~ X 2 5 M I N .</p>	<p>最小桁数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。</p>	3
 <p>~ X 2 5 M A X .</p>	<p>最大桁数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。</p>	80
数値バーコード表		
 <p>0</p>	 <p>1</p>	
 <p>2</p>	 <p>3</p>	
 <p>4</p>	 <p>5</p>	
 <p>6</p>	 <p>7</p>	
 <p>8</p>	 <p>9</p>	
 <p>確定</p>	 <p>破棄</p>	



4.10.8 コード 11 の設定

マトリクスコード	説明	デフォルト
 ~ C 1 1 D F T .	<u>コード 11 全デフォルト</u> コード 11 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C 1 1 E N A 1 .	<u>コード 11 読み取り 1</u> コード 11 を読み取ります。	
 ~ C 1 1 E N A 0 .	<u>コード 11 読み取り 0</u> コード 25 を読み取りません。	■
 ~ C 1 1 C K 2 0 .	<u>1 チェック イット</u> 1 チェック イット検査をします。	
 ~ C 1 1 C K 2 1 .	<u>2 チェック イット</u> 2 チェック イット検査をします。	■
 ~ C 1 1 C K 2 2 .	<u>自動選択 チェック イット</u> 自動選択でチェック イット検査をします。	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ C 1 1 V O T .	読取照合回数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
 ~ C 1 1 M I N .	最小桁数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	3
 ~ C 1 1 M A X .	最大桁数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.9 コード 128 の設定

コードバーコード	説明	デフォルト
 ~ 1 2 8 D F T .	コード 128 全デフォルト コード 128 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ 1 2 8 E N A 1 .	コード 128 読み取り 対応 GS1-128 を読み取ります。	■
 ~ 1 2 8 E N A 0 .	コード 128 読み取り 対応 コード 128 を読み取りません。	
 ~ 1 2 8 G S E 1 .	グループセパレータ(GS)送信 対応 GS(1Dhex)を送信します。	
 ~ 1 2 8 G S E 0 .	グループセパレータ(GS)送信 対応 GS(1Dhex)を送信しません。	■
 ~ I S B E N A 1 .	ISBT 連結機能 対応 ISBT 連結をします。	
 ~ I S B E N A 0 .	ISBT 連結機能 対応 ISBT 連結をしません。	■

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ 1 2 8 V O T .	読取照合回数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
 ~ 1 2 8 M I N .	最小桁数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	1
 ~ 1 2 8 M A X .	最大桁数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.10 GS1-128 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ G S 1 D F T .	<u>GS1-128 全デフォルト</u> GS1-128 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ G S 1 E N A 1 .	<u>GS1-128 読み取り 有効</u> GS1-128 を読み取ります。	■
 ~ G S 1 E N A 0 .	<u>GS1-128 読み取り 無効</u> GS1-128 を読み取りません。	
 ~ G S 1 E M U 0 .	<u>AI 分割送信 有効</u> 読取データをそのまま送信します。	■
 ~ G S 1 E M U 1 .	<u>AI 分割送信 有効(AI を含まない)</u> AI を自動検出し、AI を含まない各項目データを分割送信します。	
 ~ G S 1 E M U 2 .	<u>AI 分割送信 有効(AI を含む)</u> AI を自動検出し、AI を含む各項目データを分割送信します。	

送信例
















GS1-128 「(01)97847973029746(10)4000」というデータを読み取った場合

AI 分割送信 有効(AI を含まない)の送信例

<プリフィックス>97847973029746<サフィックス><プリフィックス>4000<サフィックス>
















AI 分割送信 有効(AI を含む)の送信例

<プリフィックス>0197847973029746<サフィックス><プリフィックス>104000<サフィックス>

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 ~ G S 1 V O T .	読取照合回数 左記のコマンドバ-コードをスキャン後、「数値バ-コード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。	0
 ~ G S 1 M I N .	最小桁数 左記のコマンドバ-コードをスキャン後、「数値バ-コード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。	3
 ~ G S 1 M A X .	最大桁数 左記のコマンドバ-コードをスキャン後、「数値バ-コード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。	80
数値バ-コード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	










4.10.11 Telepen の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ T E L D F T .	<u>Telepen 全デフォルト</u> Telepen に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ T E L E N A 1 .	<u>Telepen 読み取り 1</u> Telepen を読み取ります。	
 ~ T E L E N A 0 .	<u>Telepen 読み取り 0</u> Telepen を読み取りません。	■
 ~ T E L O L D 0 .	<u>AIM フォーマット</u> AIM フォーマットで出力します。	■
 ~ T E L O L D 1 .	<u>オリジナルフォーマット</u> オリジナルフォーマットで出力します。	

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 ~ T E L V O T .	読取照合回数 左記のコマンドバ-コードをスキャン後、「数値バ-コード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。	0
 ~ T E L M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバ-コードをスキャン後、「数値バ-コード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。	3
 ~ T E L M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバ-コードをスキャン後、「数値バ-コード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。	80
数値バ-コード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.12 UPC-A の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ U P A D F T .	<u>UPC-A 全デフォルト</u> UPC-A に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ U P A E N A 1 .	<u>UPC-A 読み取り 1</u> UPC-A を読み取ります。	■
 ~ U P A E N A 0 .	<u>UPC-A 読み取り 1</u> UPC-A を読み取りません。	
 ~ U P A C K X 1 .	<u>チェックサム送信 1</u> チェックサムを送信します。	■
 ~ U P A C K X 0 .	<u>チェックサム送信 1</u> チェックサムを送信しません。	
 ~ U P A N S X 1 .	<u>システムタグ送信 1</u> システムタグを送信します。	■
 ~ U P A N S X 0 .	<u>システムタグ送信 1</u> システムタグを送信しません。	
 ~ U P A A D 2 1 .	<u>アド 2 読み取り 1</u> アド 2 を読み取ります。	
 ~ U P A A D 2 0 .	<u>アド 2 読み取り 1</u> アド 2 を読み取りません。	■
 ~ U P A A D 5 1 .	<u>アド 5 読み取り 1</u> アド 5 を読み取ります。	
 ~ U P A A D 5 0 .	<u>アド 5 読み取り 1</u> アド 5 を読み取りません。	■
 ~ U P A A R Q 1 .	<u>アド必須読み取り 1</u> アド 1 付 UPC-A だけを読み取ります。	
 ~ U P A A R Q 0 .	<u>アド必須読み取り 1</u> アド 1 無しとアド 1 付の UPC-A を読み取ります。	■

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ U P A A D S 1 .	アドオンバーコード アドオンデータの前にバーコードとして、 スペースを挿入します。	
 ~ U P A A D S 0 .	アドオンバーコード スペースを挿入しません。	■
 ~ C P N E N A 2 .	クーポンコード読み取り ON (必須) クーポンコード付 UPC-A/EAN-13 を読 み取ります。クーポンコードと拡張ク ーポンコードを 1 スキャンで読み取る必要 があります。	
 ~ C P N E N A 1 .	クーポンコード読み取り ON クーポンコード付 UPC-A/EAN-13 を読 み取ります。	
 ~ C P N E N A 0 .	クーポンコード読み取り OFF クーポンコード付 UPC-A/EAN-13 を読 み取ります。	■
 ~ D L Y A D D .	アドオンタイムアウト 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続 けて「数値バーコード表」から設定 したい値を 0~65,535 の範囲でス キャンし、最後に「確定」バーコードをス キャンします。設定単位は、ミリ秒です。	100
 ~ U P C A V O T .	読取照合回数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から設定した 値を 0~10 の範囲でスキャンし、最後 に「確定」バーコードをスキャンします。	0
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	















4.10.13 UPC-E の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ U P E D F T .	<u>UPC-E 全デフォルト</u> UPC-E に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ U P E E N 0 1 .	<u>UPC-E0 読み取り 切</u> 「0」で始まる UPC-E を読み取ります。	■
 ~ U P E E N 0 0 .	<u>UPC-E0 読み取り 切</u> 「0」で始まる UPC-E を読み取しません。	
 ~ U P E E X P 1 .	<u>UPC-A 変換 切</u> UPC-A コードに変換します。	
 ~ U P E E X P 0 .	<u>UPC-A 変換 切</u> UPC-A コードに変換しません。	■
 ~ U P E C K X 1 .	<u>チェックアウト送信 切</u> チェックアウトを送信します。	■
 ~ U P E C K X 0 .	<u>チェックアウト送信 切</u> チェックアウトを送信しません。	
 ~ U P E E X N 1 .	<u>システムバース送信 切</u> システムバースを送信します。	■
 ~ U P E E X N 0 .	<u>システムバース送信 切</u> システムバースを送信しません。	
 ~ U P E N S X 1 .	<u>先頭ゼロ送信 切</u> 先頭のゼロを送信します。	
 ~ U P E N S X 0 .	<u>システムバース送信 切</u> システムバースを送信しません。	
 ~ U P E A D 2 1 .	<u>アドバンス2読み取り 切</u> アドバンス2を読み取ります。	
 ~ U P E A D 2 0 .	<u>アドバンス2読み取り 切</u> アドバンス2を読み取しません。	■

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ U P E A D 5 1 .	アドカ5読み取り 有効 アドカ5を読み取ります。	
 ~ U P E A D 5 0 .	アドカ5読み取り 無効 アドカ5を読み取りません。	■
 ~ U P E A R Q 1 .	アドカ必須読み取り 有効 アドカ付 UPC-E だけを読み取ります。	
 ~ U P E A R Q 0 .	アドカ必須読み取り 無効 アドカ無しとアドカ付の UPC-E を読み取ります。	■
 ~ U P E A D S 1 .	アドカパレタ 有効 アドカデータの前にパレタとして、スペースを挿入します。	
 ~ U P E A D S 0 .	アドカパレタ 無効 スペースを挿入しません。	■
 ~ D L Y A D D .	アドカタイムアウト 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~65,535 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	100
 ~ U P C A V O T .	読取照合回数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を 0~10 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	















4.10.14 EAN/JAN-13 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ E 1 3 D F T .	<u>EAN/JAN-13 全デフォルト</u> EAN/JAN-13に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ E 1 3 E N A 1 .	<u>EAN/JAN-13 読み取り 有</u> EAN/JAN-13 を読み取ります。	■
 ~ E 1 3 E N A 0 .	<u>EAN/JAN-13 読み取り 有</u> EAN/JAN-13 を読み取りません。	
 ~ E 1 3 C K X 1 .	<u>チェックアウト送信 有</u> チェックアウトを送信します。	■
 ~ E 1 3 C K X 0 .	<u>チェックアウト送信 有</u> チェックアウトを送信しません。	
 ~ E 1 3 A D 2 1 .	<u>アドカ2読み取り 有</u> アドカ2を読み取ります。	
 ~ E 1 3 A D 2 0 .	<u>アドカ2読み取り 有</u> アドカ2を読み取りません。	■
 ~ E 1 3 A D 5 1 .	<u>アドカ5読み取り 有</u> アドカ5を読み取ります。	
 ~ E 1 3 A D 5 0 .	<u>アドカ5読み取り 有</u> アドカ5を読み取りません。	■
 ~ E 1 3 A R Q 1 .	<u>アドカ必須読み取り 有</u> アドカ付 EAN/JAN-13 だけを読み取ります。	
 ~ E 1 3 A R Q 0 .	<u>アドカ必須読み取り 有</u> アドカ無しとアドカ付の EAN/JAN-13 を読み取ります。	■
 ~ E 1 3 A D S 1 .	<u>アドカパレット 有</u> アドカパレットの前にパレットとして、スキャンを挿入します。	
 ~ E 1 3 A D S 0 .	<u>アドカパレット 有</u> スキャンを挿入しません。	■

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ E 1 3 I S B 1 .	<u>ISBN 変換 有</u> ISBN 変換をします。	
 ~ E 1 3 I S B 0 .	<u>ISBN 変換 有</u> ISBN 変換をしません。	■
 ~ D L Y A D D .	<u>アドオンタイムアウト</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~65,535 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	100
 ~ E 1 3 V O T .	<u>読取照合回数</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を 0~10 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	






4.10.15 EAN/JAN-8 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ E A 8 D F T .	<u>EAN/JAN-8 全デフォルト</u> EAN/JAN-8 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ E A 8 E N A 1 .	<u>EAN/JAN-8 読み取り 有</u> EAN/JAN-8 を読み取ります。	■
 ~ E A 8 E N A 0 .	<u>EAN/JAN-8 読み取り 有</u> EAN/JAN-8 を読み取りません。	
 ~ E A 8 C K X 1 .	<u>チェックアウト送信 有</u> チェックアウトを送信します。	■
 ~ E A 8 C K X 0 .	<u>チェックアウト送信 有</u> チェックアウトを送信しません。	
 ~ E A 8 A D 2 1 .	<u>アドオン2読み取り 有</u> アドオン2を読み取ります。	
 ~ E A 8 A D 2 0 .	<u>アドオン2読み取り 有</u> アドオン2を読み取りません。	■
 ~ E A 8 A D 5 1 .	<u>アドオン5読み取り 有</u> アドオン5を読み取ります。	
 ~ E A 8 A D 5 0 .	<u>アドオン5読み取り 有</u> アドオン5を読み取りません。	■
 ~ E A 8 A R Q 1 .	<u>アドオン必須読み取り 有</u> アドオン付 EAN/JAN-8 だけを読み取ります。	
 ~ E A 8 A R Q 0 .	<u>アドオン必須読み取り 有</u> アドオン無しとアドオン付の EAN/JAN-8 を読み取ります。	■
 ~ E A 8 A D S 1 .	<u>アドオンパレット 有</u> アドオンデータの前にパレットとして、スペースを挿入します。	
 ~ E A 8 A D S 0 .	<u>アドオンパレット 有</u> スペースを挿入しません。	■

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 <p>~ D L Y A D D .</p>	<p><u>アドオンタイムアウト</u> 左記のコマンドバ-コードをスキャンし、続けて「数値バ-コード表」から設定したい値を 0~65,535 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。</p>	100
 <p>~ E A 8 V O T .</p>	<p><u>読取照合回数</u> 左記のコマンドバ-コードをスキャン後、「数値バ-コード表」から設定したい値を 0~10 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。</p>	0
数値バ-コード表		
 <p>0</p>	 <p>1</p>	
 <p>2</p>	 <p>3</p>	
 <p>4</p>	 <p>5</p>	
 <p>6</p>	 <p>7</p>	
 <p>8</p>	 <p>9</p>	
 <p>確定</p>	 <p>破棄</p>	
















4.10.16 MSI の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ M S I D F T .	<u>MSI 全デフォルト</u> MSI に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ M S I E N A 1 .	<u>MSI 読み取り 1</u> MSI を読み取ります。	
 ~ M S I E N A 0 .	<u>MSI 読み取り 0</u> MSI を読み取りません。	■
 ~ M S I C H K 0 .	<u>チェックサム 0/送信 0</u> チェックサム(タイプ 10)検査をしますが、送信は行いません。	■
 ~ M S I C H K 1 .	<u>チェックサム 0/送信 0</u> チェックサム(タイプ 10)検査及び送信を行います。	
 ~ M S I C H K 2 .	<u>チェックサム 2/送信 0</u> チェックサム(タイプ 10)x2 検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ M S I C H K 3 .	<u>チェックサム 2/送信 0</u> チェックサム(タイプ 10)x2 検査及び送信を行います。	
 ~ M S I C H K 4 .	<u>チェックサム 2-10/11/送信 0</u> チェックサム(タイプ 10) & (タイプ 11) 検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ M S I C H K 5 .	<u>チェックサム 2-10/11/送信 0</u> チェックサム(タイプ 10) & (タイプ 11) 検査及び送信を行います。	
 ~ M S I C H K 6 .	<u>チェックサム 無し</u> チェックサム検査を行いません。	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ M S I V O T .	読取照合回数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
 ~ M S I M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	3
 ~ M S I M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	48
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.17 Plessey の設定

















コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P L S D F T .	<u>Plessey 全デフォルト</u> Plessey に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ P L S E N A 1 .	<u>Plessey 読み取り 有効</u> Plessey を読み取ります。	
 ~ P L S E N A 0 .	<u>Plessey 読み取り 無効</u> Plessey を読み取りません。	■
 ~ P L S C H K 1 .	<u>チェックアウト 有効/送信 有効</u> チェックアウト検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ P L S C H K 2 .	<u>チェックアウト 有効/送信 有効</u> チェックアウト検査及び送信を行います。	
 ~ P L S C H K 0 .	<u>チェックアウト 無し</u> チェックアウト検査を行いません	■

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P L S V O T .	読取照合回数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
 ~ P L S M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	3
 ~ P L S M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	48
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.18 GS1 Databar Omnidirectional の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ R S S D F T .	<u>GS1 Databar Omnidirectional</u> <u>全デフォルト</u> GS1 Databar Omnidirectional に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ R S S E N A 1 .	<u>GS1 Databar Omnidirectional</u> <u>読み取り 有</u> GS1 Databar Omnidirectional を読み取ります。	■
 ~ R S S E N A 0 .	<u>GS1 Databar Omnidirectional</u> <u>読み取り 有</u> GS1 Databar Omnidirectional を読み取りません。	
 ~ R S S V O T .	<u>読取照合回数</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を 0~10 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.19 GS1 Databar Limited の設定

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 ~ R S L D F T .	GS1 Databar Limited 全デフォルト GS1 Databar Limited に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ R S L E N A 1 .	GS1 Databar Limited 読み取り 有効 GS1 Databar Limited を読み取ります。	■
 ~ R S L E N A 0 .	GS1 Databar Limited 読み取り 無効 GS1 Databar Limited を読み取りません。	
 ~ R S L V O T .	読取照合回数 左記のコマンドバ-コードをスキャン後、「数値バ-コード表」から設定したい値を 0~10 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。	0
数値バ-コード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.20 GS1 Databar Expanded の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ R S E D F T .	<u>GS1 Databar Expanded</u> <u>全デフォルト</u> GS1 Databar Expanded に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ R S E E N A 1 .	<u>GS1 Databar Expanded</u> <u>読み取り 可</u> GS1 Databar Expanded を読み取ります。	■
 ~ R S E E N A 0 .	<u>GS1 Databar Expanded</u> <u>読み取り 不可</u> GS1 Databar Expanded を読み取りません。	
 ~ R S E V O T .	<u>読取照合回数</u> 左記のコマンドバーコード をスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を 0~10 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコード をスキャンします。	0
 ~ R S E E M I N .	<u>最小桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバーコード をスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を 1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコード をスキャンします。	3
 ~ R S E E M A X .	<u>最大桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバーコード をスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を 1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコード をスキャンします。	80
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.21 GS1 拡張の設定



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ E A N E M U 0 .	<u>GS1 拡張 無し</u> GS1 拡張を行いません。	■
 ~ E A N E M U 1 .	<u>GS1-128 拡張有り</u> 全リテールコード (UPC/EAN/JAN)は、16桁に拡張され、AIM ID が有効であれば、読取データの先頭に AIM ID の Jc1 を付加します。	
 ~ E A N E M U 2 .	<u>GS1 Databar 拡張有り</u> 全リテールコード (UPC/EAN/JAN)は、16桁に拡張され、AIM ID が有効であれば、読取データの先頭に AIM ID の Je0 を付加します。	
 ~ E A N E M U 3 .	<u>GS1 コード 拡張 無し</u> 全リテールコード (UPC/EAN/JAN)の拡張を無効にします。AIM ID が有効であれば、GS1-128 読取データの先頭に AIM ID の Jc1 を付加します。	
 ~ E A N E M U 4 .	<u>EAN8→EAN13 変換 有り</u> 全 EAN8 コードを EAN13 に変換します。	

4.10.22 Trioptic コードの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ T R I E N A 1 .	Trioptic コード読み取り <u>を</u> Trioptic コードを読み取ります。	
 ~ T R I E N A 0 .	Trioptic コード読み取り <u>を</u> Trioptic コードを読み取りません。	■

- Trioptic コードは、磁気記録媒体のバー表示に使用されています。
- コード 32(PARAF)を読み取る場合は、必ず Trioptic コードの読み取りを を にしてください。(本書「4.10.2 コード 39 の設定」参照)

4.10.23 中国郵便コードの設定

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 ~ C P C D F T .	中国郵便コード全デフォルト 中国郵便コードに関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C P C E N A 1 .	中国郵便コード読み取り <u>か</u> 中国郵便コードを読み取ります。	
 ~ C P C E N A 0 .	中国郵便コード読み取り <u>か</u> 中国郵便コードを読み取りません。	■
 ~ C P C V O T .	読取照合回数 左記のコマンドバ-コードをスキャン後、「数値バ-コード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。	0
 ~ C P C M I N .	最小桁数 左記のコマンドバ-コードをスキャン後、「数値バ-コード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。	3
 ~ C P C M A X .	最大桁数 左記のコマンドバ-コードをスキャン後、「数値バ-コード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。	80
数値バ-コード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

Blank page

5. シリアルコマンド

シリアルコマンドを使うことで、パラメータの設定や取得、シリアルリガ制御などを行うことが可能になります。

5.1 メニューコマンド

メニューコマンドは、パラメータ設定や取得を行うためのコマンド群です。下記にメニューコマンドフォーマットを示します。

プレフィックス :スキャナ名: タグ サブタグ データ サブタグ データ タグ サブタグ データ メモリ

* [] は、省略可能なオプションフィールドです。

プレフィックス フィールド

<SYN>M<CR> 固定です。(<SYN>=16hex, M=4Dhex, <CR>=0Dhex)

:スキャナ名: フィールド

特定のスキャナにメニューコマンドを送信したい場合に、:Voyager: などスキャナ名をコロンで囲んで指定します。スキャナ名が分からない場合は、ワイルドカード * を指定することもできます。

タグ フィールド

メニューコマンドのカテゴリを識別する3文字です。例えば、RS232C 関連のメニューコマンドのタグは、232 です。

サブタグ フィールド

タググループ内のパラメータ項目を識別する3文字です。例えば、RS232C のポートは、BAD です。

データ フィールド

パラメータの設定を行う場合は、新しい設定値を指定します。設定できる値はメニューコマンドにより異なります。

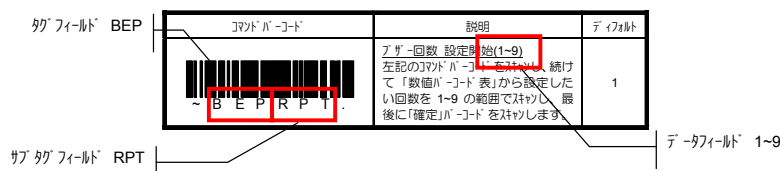
パラメータの設定値や設定範囲を取得しようとする場合は、下記に示す何れかの文字を指定します。

- ^(5Ehex) デフォルト設定を取得
 - ?(3Fhex) 現在の設定を取得
 - *(2Ahex) 設定範囲を取得
- (* 連続値は - で区切れ、不連続値は | で区切られます)

メモリフィールド

設定値の保存先又は取得先を指定します。揮発性 RAM メモリ領域を保存先/取得先にする場合は、「!」(21hex)を指定し、不揮発性メモリを保存先/取得先にする場合は、「.」(2Ehex)を指定します。不揮発性メモリを保存先にした場合、電源を落としても設定値は消えません。

タグフィールド、サブタグフィールド、データフィールドの値は、本書「4.パラメータ設定」に掲載しているコマンドバーコードのヒューマンリダブル文字を参照してください。



複数メニューコマンドの連結

1つのメニューコマンドフォーマット内で複数のメニューコマンドを指定する場合は、下記に示す何れかのセパレータで区切ります。

セパレータ	説明
,(2Chex)	同じタググループのメニューコマンドを続けて指定する場合は、カンマで区切り、サブタグフィールドとデータフィールドを指定します。
;(3Bhex)	異なるタググループのメニューコマンドを続けて指定する場合は、セミコロンで区切り、タグフィールド～データフィールドを指定します。

レスポンスキャラクタ

メニューコマンドを受信すると、下記に示す何れかのレスポンスキャラクタを返します。

レスポンス	説明
ACK(06hex)	正しくコマンドを実行したことを意味します。
ENQ(05hex)	タグフィールド又はサブタグフィールドの指定値が無効です。
NAK(15hex)	データフィールドの指定値が範囲外です。

パラメータ設定値の取得例

例 1) コーダバー-(NW7)読み取りの初期値を取得

```

メニューコマンド :      cbrna^
レスポンス       :      CBRENA1<ACK>
                  * <ACK> = 06hex
初期値が 1 であることが分かります。
    
```

例 2) コーダバー-(NW7)に関する全設定値を取得

```

メニューコマンド :      cbr?
レスポンス       :      CBRENA1<ACK>,
                  SSX0<ACK>,
                  CK20<ACK>,
                  CCT1<ACK>,
                  MIN2<ACK>,
                  MAX60<ACK>,
                  DFT<ACK>.
                  * <ACK> = 06hex
    
```

5.2 シリアルトリガ コマンド

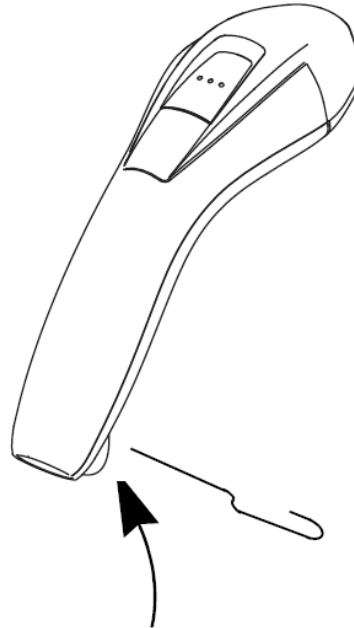
下記のシリアルトリガ コマンド を発行することで、スキャナの読み取り開始・終了をコントロールすることができます。

<SYN> T <CR>	読み取りを開始します。
<SYN> U <CR>	読み取りを終了します。
* <SYN> = 16hex, <CR> = 0Dhex	

Blank page

A.1 インターフェイスケーブルの交換

スキャナに付属のインターフェイスケーブルは簡単に取り外しが行えます。下記の図を参照して、インターフェイスケーブルの交換を行ってください。

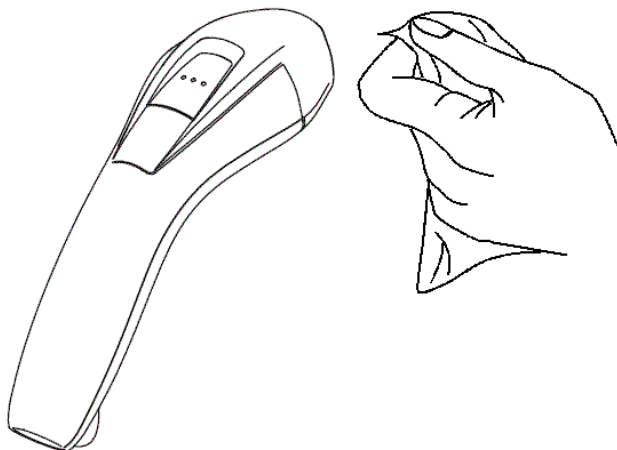


クリップなど先の細いピンをスキャナ裏面の穴に差し込んでケーブルを取り外します

A.2 メンテナンス

読取ウィンドウは、定期的に、やわらかいリフトフリークロスで拭いてください。研磨剤入りのクワイプなどは絶対に使用しないでください。

読取ウィンドウの汚れ、傷は、読取パフォーマンス低下の大きな原因となります。



A.3 EZConfig 設定ユーティリティソフト

EZConfig は、リアルタイムインターフェイス及び USB バーチャル COM インターフェイスを通して、オンラインでスキャナの設定が行えるユーティリティソフトです。メニューバーに「コード」を印刷することもできるため、オンラインでのスキャナ設定も行えます。

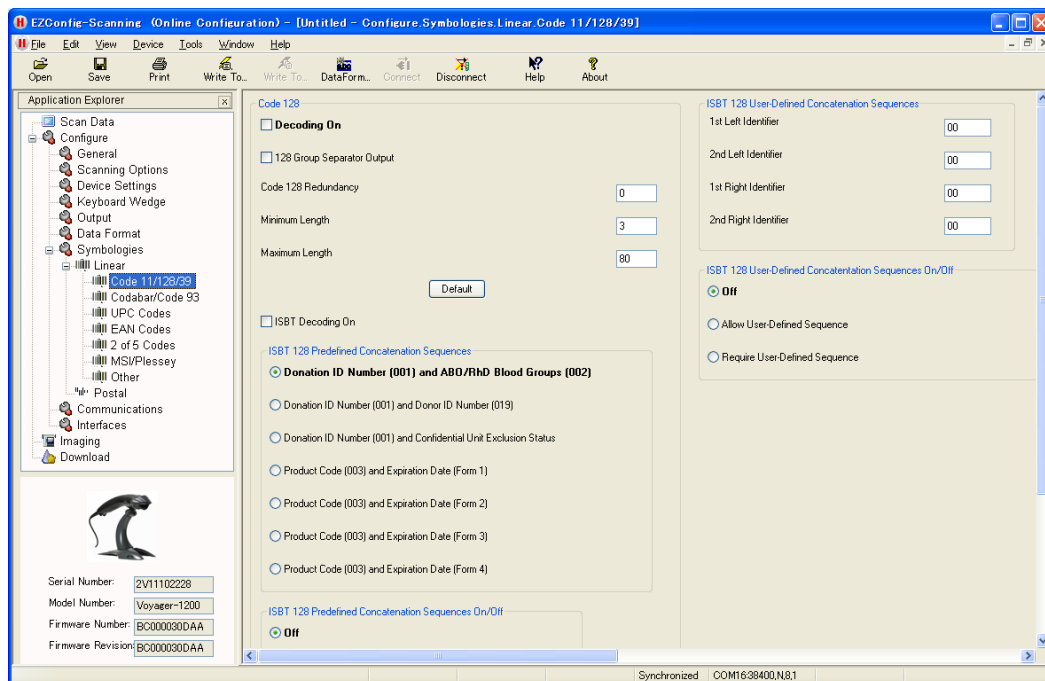
弊社 WEB ページより最新版をダウンロードしてご利用ください。

http://www.aiware-distribution.com/support/dl_program.htm

EzConfig パラメータ設定支援ユーティリティソフトウェア

Xenon 1900/1902/3800g/3820/4206/4600/4800/4820シリーズ他対応 対応

[ezconfig.zip](#)



A.4 データ編集機能

スキャナは読取データを自由に加工して、送信することができる強力なデータ編集機能を搭載しています。ここでは、データ編集機能で使用可能なコマンドを簡単な例を交えながら説明します。尚、データ編集機能の設定には、先に紹介した EZConfig 設定ユーティリティを利用します。お使いの PC に EZConfig をインストールしてから、次に進んで下さい。

A.4.1 データ編集コマンド

下記に、データ編集機能で利用可能なコマンドとその機能を示します。

データ送信コマンド

F1 現在のカーソル位置以降のデータの後に指定キャラクタを付加して送信します。処理後カーソルはデータの終端に移動します。

{F1}@

カーソル位置以降のデータの後に@(40hex)を付加して送信します。

{F1}[ETX]

カーソル位置以降のデータの後に ETX(03hex)を付加して送信します。

F2 現在のカーソル位置から指定桁数(00~99)のデータの後に指定キャラクタを付加して送信します。カーソルは指定桁数分移動します。

{F2}05@

カーソル位置から 5 桁のデータの後に@(40hex)を付加して送信します。

{F2}99[ETX]

カーソル位置から 99 桁のデータの後に ETX(03hex)を付加して送信します。

F3 現在のカーソル位置から検索対象キャラクタを検索し、見つければその直前までのデータ(検索対象キャラクタは含まない)の後に指定キャラクタを付加して送信します。カーソルは検索対象キャラクタの直前に移動します。

{F3}A@

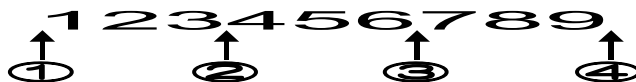
カーソル位置から検索対象キャラクタ A(41hex)を検索し、見つければその直前までのデータの後に@(40hex)を付加して送信します。

{F3}[HT][ETX]

カーソル位置から検索対象キャラクタ TAB(09hex)を検索し、見つければその直前までのデータの後に ETX(03hex)を付加して送信します。

カーソルって？

読取データの何桁目を指しているかを示すポイントです。カーソルは、最初読取データ 1 桁目(先頭)を指し、以降実行されたコマンドにより、位置を移動させます。例えば、123456789 という 9 桁の読取データに対して、{F2}03@→{F6}03→{F1}[SOH] の順でコマンドを実行した場合、カーソルは次のように移動します。



F4 指定キャラクタ 1 文字を指定回数(00~99)送信します。このコマンドは、カーソル位置には影響を与えません。

{F4}@05

指定キャラクタ@を 5 回送信します。

{F4}[HT]99

指定キャラクタ TAB(09hex)を 99 回送信します。

E9 現在のカーソル位置以降の全データから指定桁数(00~99)を終端から削除して送信します。カーソルは送信した最終キャラクタの直後に移動します。

{E9}05

カーソル位置以降の全データから 5 桁を終端から削除して送信します。

{E9}99

カーソル位置以降の全データから 99 桁を終端から削除して送信します。

B3 シMBOL名を送信します。このコマンドは、カーソル位置には影響を与えません。

{B3}

シMBOL名を送信します。

B4 データ桁数を送信します(先頭に 0 は付加しません)。このコマンドは、カーソル位置には影響を与えません。

{B4}

データ桁数を送信します。

カーソル移動コマンド

F5 カーソルを右方向(終端方向)へ指定桁数(00~99)移動します。

{F5}05

カーソルを右方向(終端方向)へ 5 桁移動します。

{F5}99

カーソルを右方向(終端方向)へ 99 桁移動します。

F6 カーソルを左方向(先頭方向)へ指定桁数(00~99)移動します。

{F6}05

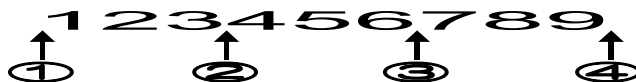
カーソルを左方向(先頭方向)へ 5 桁移動します。

{F6}99

カーソルを左方向(先頭方向)へ 99 桁移動します。

カーソルって？

読取データの何桁目を指しているかを示すポイントです。カーソルは、最初読取データ 1 桁目(先頭)を指し、以降実行されたコマンドにより、位置を移動させます。例えば、123456789 という 9 桁の読取データに対して、{F2}03@→{F6}03→{F1}[SOH] の順でコマンドを実行した場合、カーソルは次のように移動します。



F7 カーソルを先頭へ移動します。

{F7}

カーソルを先頭へ移動します。

EA カーソルを終端へ移動します。

{EA}

カーソルを終端へ移動します。

検索コマンド

F8 指定キャラクタを現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索します。見つければ、カーソルは検索対象キャラクタの直前に移動します。見つからなかった場合は、データ編集フォーマットを適用しません。

{F8}A

A(41hex)を現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索します。

{F8}[ENQ]

ENQ(05hex)を現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索します。

F9 指定キャラクタを現在のカーソル位置から左方向(先頭方向)に検索します。見つければ、カーソルは検索対象キャラクタの直前に移動します。見つからなかった場合は、データ編集フォーマットを適用しません。

{F9}A

A(41hex)を現在のカーソル位置から左方向(先頭方向)に検索します。

{F9}[ENQ]

ENQ(05hex)を現在のカーソル位置から左方向(先頭方向)に検索します。

B0 指定文字列を現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索します。見つければ、カーソルは検索対象文字列の直前に移動します。見つからなかった場合は、データ編集フォーマットを適用しません。

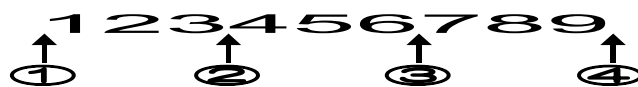
書式は、B0nnnnS で、nnnn には桁数 0001~9999、S には検索対象の文字が入ります。

{B0}0004Test

4 桁の文字列 Test をカーソル位置から右方向(終端方向)に検索します。

カーソルって？

読取データの何桁目を指しているかを示すポイントです。カーソルは、最初読取データ 1 桁目(先頭)を指し、以降実行されたコマンドにより、位置を移動させます。例えば、123456789 という 9 桁の読取データに対して、{F2}03@→{F6}03→{F1}[SOH] の順でコマンドを実行した場合、カーソルは次のように移動します。



- B1** 指定文字列を現在のカーソル位置から左方向(先頭方向)に検索します。見つければ、カーソルは検索対象文字列の直前に移動します。見つからなかった場合は、データ編集フォーマットを適用しません。

書式は、B1nnnnS で、nnnn には桁数 0001~9999、S には検索対象の文字が入ります。

{B1}0004Test

4 桁の文字列 Test をカーソル位置から右方向(先頭方向)に検索します。

- B2** 指定文字列を現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索します。見つければ、カーソルは検索対象文字列の直後に移動します。見つからなかった場合は、データ編集フォーマットを適用しません。

書式は、B0nnnnS で、nnnn には桁数 0001~9999、S には検索対象の文字が入ります。

{B0}0004Test

4 桁の文字列 Test をカーソル位置から右方向(終端方向)に検索します。

- E6** 指定キャラクタと合致しないキャラクタを現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索します。見つければ、カーソルは検索対象キャラクタの直前に移動します。見つからなかった場合は、データ編集フォーマットを適用しません。

{E6}[ACK]

ACK(06hex)と合致しないキャラクタを現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索します。

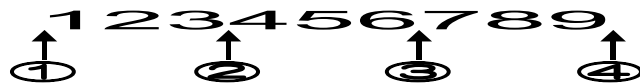
- E7** 指定キャラクタと合致しないキャラクタを現在のカーソル位置から左方向(先頭方向)に検索します。見つければ、カーソルは検索対象キャラクタの直前に移動します。見つからなかった場合は、データ編集フォーマットを適用しません。

{E7}[ENQ]

ENQ(05hex)と合致しないキャラクタを現在のカーソル位置から左方向(先頭方向)に検索します。

カーソルって？

読取データの何桁目を指しているかを示すポイントです。カーソルは、最初読取データ 1 桁目(先頭)を指し、以降実行されたコマンドにより、位置を移動させます。例えば、123456789 という 9 桁の読取データに対して、{F2}03@→{F6}03→{F1}[SOH] の順でコマンドを実行した場合、カーソルは次のように移動します。



その他コマンド

FB 現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索し、指定キャラクタを抑止(削除)します。引数には、15文字までの異なるキャラクタを指定可能です。このコマンドは、カーソル位置には影響を与えません。

{FB}[ACK]

現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索し、ACK(06hex)を抑止(削除)します。

{FB}0123456789ABCDE

現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索し、0~9(30~39hex), A~E(41~45hex)を抑止(削除)します。

FC 先の FB コマンドで抑止(削除)したキャラクタを復活させます。このコマンドは、カーソル位置には影響を与えませんが、抑止(削除)したキャラクタを全て復活させたい場合は、F7 コマンドでカーソル位置を先頭に戻してから FC コマンドを実行する必要があります。

{F7}{FC}

カーソル位置を先頭に戻した後、FB コマンドで抑止(削除)したキャラクタを復活させます。

E4 現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索し、指定キャラクタを別のキャラクタに置換します。引数には、15対(対象キャラクタと置換キャラクタ)までの異なるキャラクタを指定可能です。このコマンドは、カーソル位置には影響を与えません。

{E4}1A2B

現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索し、1(31hex)を A(41hex)、2(32hex)を B(42hex)に置換します。

{E4}1[HT]2[CR]

現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索し、1(31hex)を TAB(09hex)、2(32hex)を CR(0Dhex)に置換します。

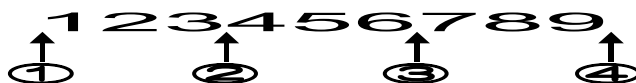
E5 先の E4 コマンドで置換したキャラクタを復活させます。このコマンドは、カーソル位置には影響を与えませんが、抑止(削除)したキャラクタを全て復活させたい場合は、F7 コマンドでカーソル位置を先頭に戻してから E5 コマンドを実行する必要があります。

{F7}{E5}

カーソル位置を先頭に戻した後、E4 コマンドで置換したキャラクタを復活させます。

カーソルって？

読取データの何桁目を指しているかを示すポインタです。カーソルは、最初読取データ 1 桁目(先頭)を指し、以降実行されたコマンドにより、位置を移動させます。例えば、123456789 という 9 桁の読取データに対して、{F2}03@→{F6}03→{F1}[SOH] の順でコマンドを実行した場合、カーソルは次のように移動します。



FE 指定キャラクタと現在のカーソル位置のキャラクタを照合し、合致すれば、カーソルを右方向(終端方向)に 1 桁移動させます。合致しなかった場合は、編集フォーマットを適用しません。

{FE}A

A(41hex)と現在のカーソル位置のキャラクタを照合します。

{FE}[ACK]

ACK(06hex)と現在のカーソル位置のキャラクタを照合します。

EC 現在のカーソル位置のキャラクタをチェックし、数字 0~9(30~39hex)の場合は、編集フォーマットを適用し、そうで無い場合は、適用しません。

{EC}

現在のカーソル位置のキャラクタをチェックします。例えば、現在のカーソル位置のキャラクタが A(41hex)の場合、処理をキャンセルし、編集フォーマットを適用しません。

ED 現在のカーソル位置のキャラクタをチェックし、数字 0~9(30~39hex)で無い場合は、編集フォーマットを適用し、そうで無い場合は、適用しません。

{ED}

現在のカーソル位置のキャラクタをチェックします。例えば、現在のカーソル位置のキャラクタが 1(31hex)の場合、処理をキャンセルし、編集フォーマットを適用しません。

EF 最大 49,995 ミリ秒のデレイを挿入します。このコマンドは、キーボードインターフェイスにのみ有効です。

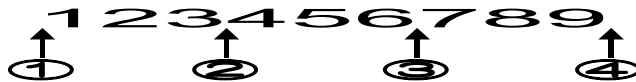
書式は、EFnnnn で、nnnn には 0001~9999(設定単位 5 ミリ秒)を指定します。

{EF}0010

50 ミリ秒(10 x 5 ミリ秒)のデレイを挿入します。

カーソルって？

読取データの何桁目を指しているかを示すポインタです。カーソルは、最初読取データ 1 桁目(先頭)を指し、以降実行されたコマンドにより、位置を移動させます。例えば、123456789 という 9 桁の読取データに対して、{F2}03@→{F6}03→{F1}[SOH] の順でコマンドを実行した場合、カーソルは次のように移動します。



A.4.2 データ編集フォーマットの種類

データ編集フォーマットには、下記に示す 4 種類があり、用途に応じて使い分けることができます。

プライマリデータ編集フォーマット (Primary)

通常適用されるデータ編集フォーマットです。

オルタネイトデータ編集フォーマット 1~3 (Alternate 1~3)

一時的にデータ編集フォーマットを切り替えて使用したい場合に利用します。下記に掲載しているマトリックスコードを読み取ることで、一時的に指定のオルタネイトデータ編集フォーマットを適用することができます。このデータ編集フォーマットは、マトリックスコードを読み取った直後の読取データに一度だけ適用され、その後、プライマリデータ編集フォーマットに復帰します。

<p>オルタネイトフォーマット 1</p>  <p>~ V S A F _ 1 .</p>	<p><u>オルタネイトデータ編集フォーマット 1</u></p> <p>一時的にオルタネイトデータ編集フォーマット 1 に切り替えます。一度、コードを読み取ると、プライマリデータ編集フォーマットに復帰します。</p>
<p>オルタネイトフォーマット 2</p>  <p>~ V S A F _ 2 .</p>	<p><u>オルタネイトデータ編集フォーマット 2</u></p> <p>一時的にオルタネイトデータ編集フォーマット 2 に切り替えます。一度、コードを読み取ると、プライマリデータ編集フォーマットに復帰します。</p>
<p>オルタネイトフォーマット 3</p>  <p>~ V S A F _ 3 .</p>	<p><u>オルタネイトデータ編集フォーマット 3</u></p> <p>一時的にオルタネイトデータ編集フォーマット 3 に切り替えます。一度、コードを読み取ると、プライマリデータ編集フォーマットに復帰します。</p>

A.4.3 データ編集機能の設定例

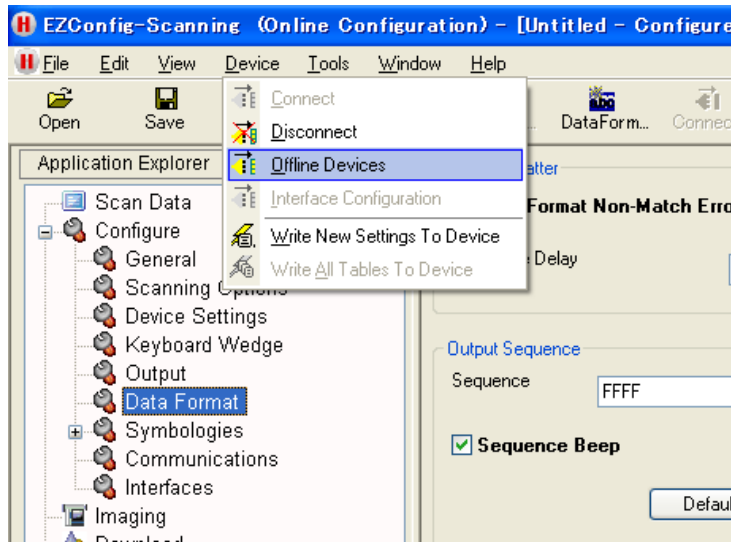
ここでは、下記の条件を元に実際に EZConfig を利用して、データ編集機能を設定してみましょう。

設定条件例

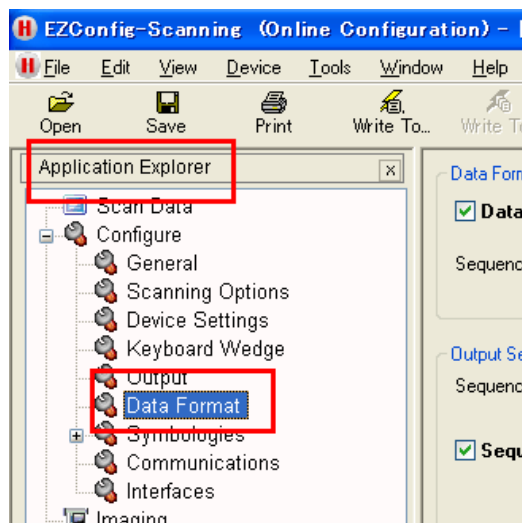
- 全ての読取シリアルに適用
- 全ての桁数の読取データに適用
- 読取データの2桁目から5桁にTAB(09hex)をつけて送信
- 読取データの先頭から全データにTAB(09hex)をつけて送信

早速、EZConfig を使って、設定を行ってみましょう。

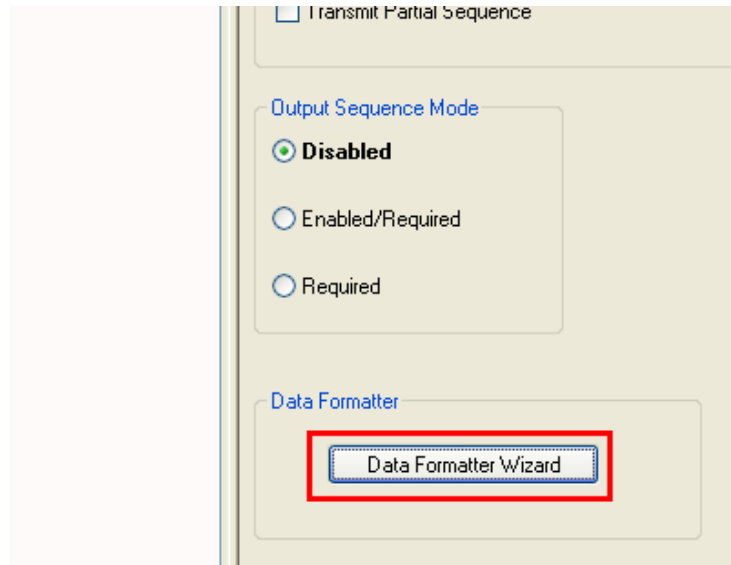
1. PC にスキャナを接続し、EZConfig を立ち上げます。オンラインで設定を行う場合は、PC と RS232C インターフェイス又は USB バーチャル COM インターフェイスで接続する必要があります。その他のインターフェイスをご使用の場合は、オンライン「Offline Devices」を選択し、続いて、ご使用のスキャナの機種を選択します。



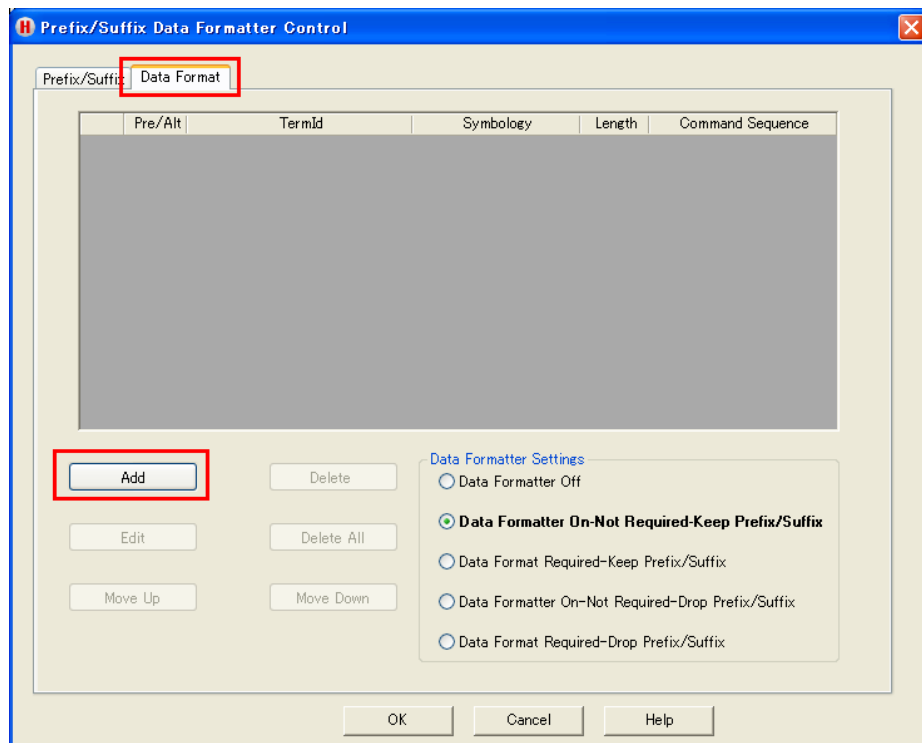
2. 「Application Explorer」から「Data Format」をクリックします。



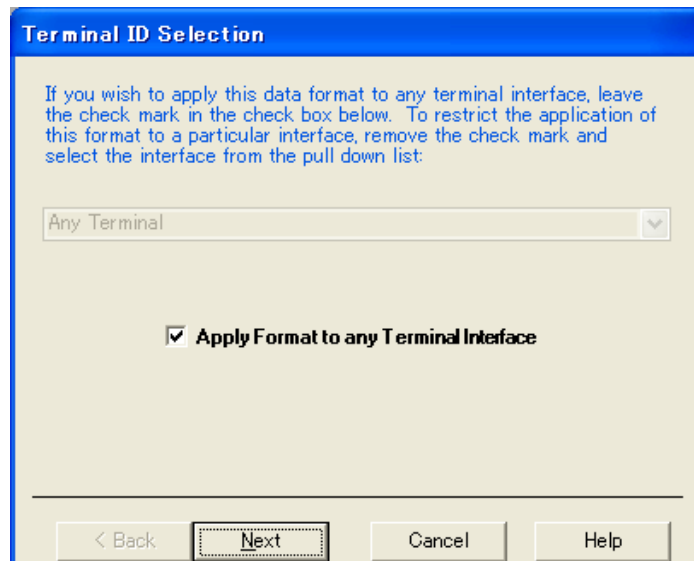
3. 「Data Format Wizard」をクリックして、ウィザードを起動します。



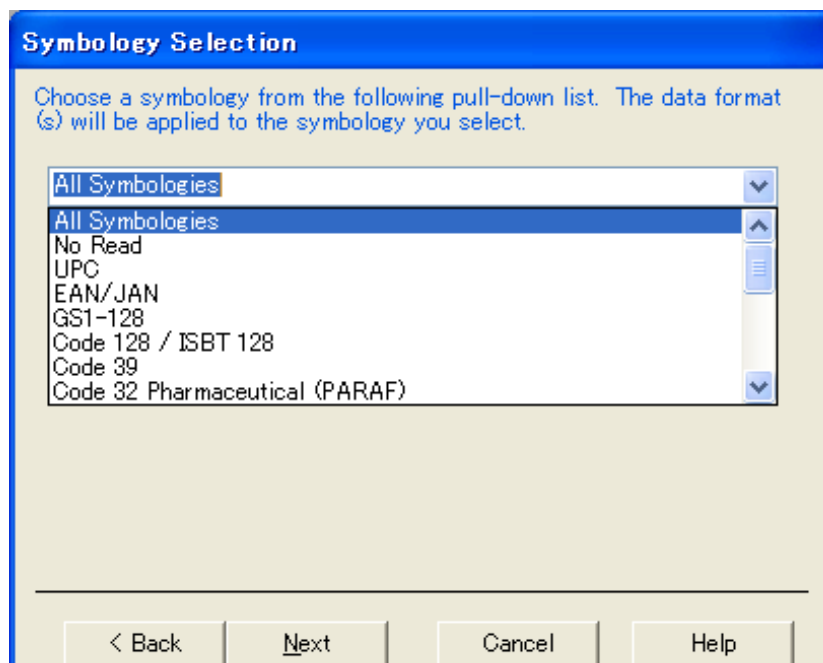
4. 「Data Format」タブに切り替え、「Add」ボタンをクリックして、データ編集フォーマットの追加を行います。



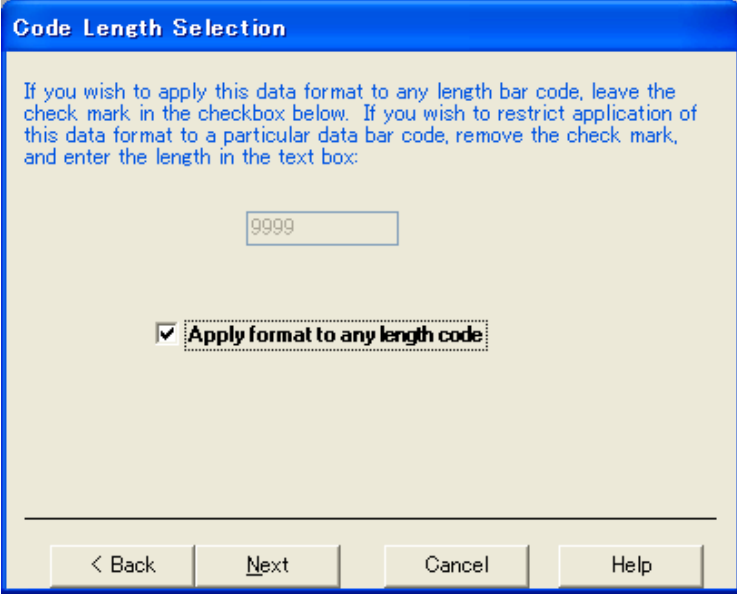
5. どのターミナル ID(インターフェイス)に対して、データ編集フォーマットを適用するかを選択します。通常は、全てのターミナル ID に適用するので、そのまま「次へ」をクリックして進みます。



6. どの読取シボ ルに対して、データ編集フォーマットを適用するかを選択します。特定の読取シボ ルにだけ適用したい場合は、そのシボ ルを選択してください。ここでは、全ての読取シボ ルを対象とするので、「All Symbologies」を選択して、次に進みます。



7. 何桁の読取データに対して、データ編集フォーマットを適用するかを選択します。特定の桁数の読取シリアルにだけ適用したい場合は、その桁数を入力してください。ここでは、全ての桁数を対象とするので、「Apply format to any length code」を選択して、次に進みます。



Code Length Selection

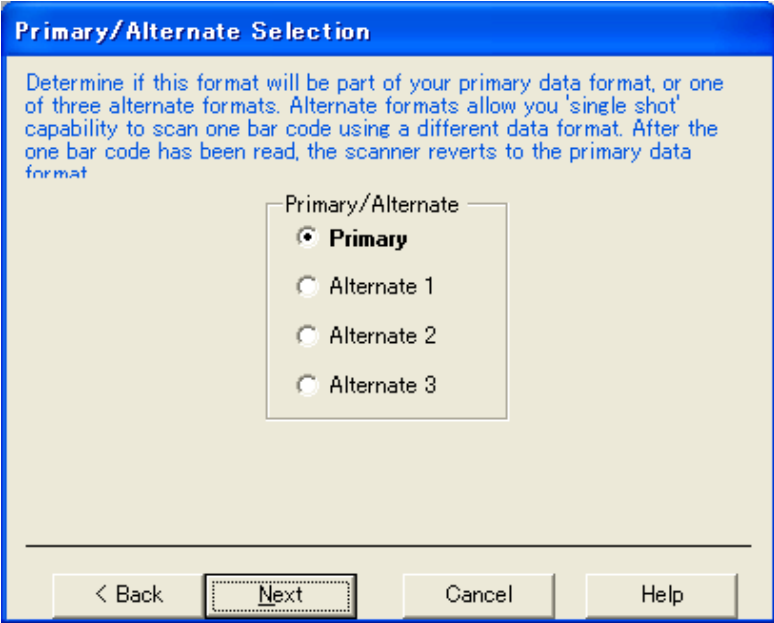
If you wish to apply this data format to any length bar code, leave the check mark in the checkbox below. If you wish to restrict application of this data format to a particular data bar code, remove the check mark, and enter the length in the text box:

9999

Apply format to any length code

< Back Next Cancel Help

8. データ編集フォーマットの種類を選択します。詳しくは、本書「A.4.2 データ編集フォーマットの種類」を参照ください。ここでは、プライマリデータ編集フォーマット (Primary)を選択して、次に進みます。



Primary/Alternate Selection

Determine if this format will be part of your primary data format, or one of three alternate formats. Alternate formats allow you 'single shot' capability to scan one bar code using a different data format. After the one bar code has been read, the scanner reverts to the primary data format

Primary/Alternate

Primary

Alternate 1

Alternate 2

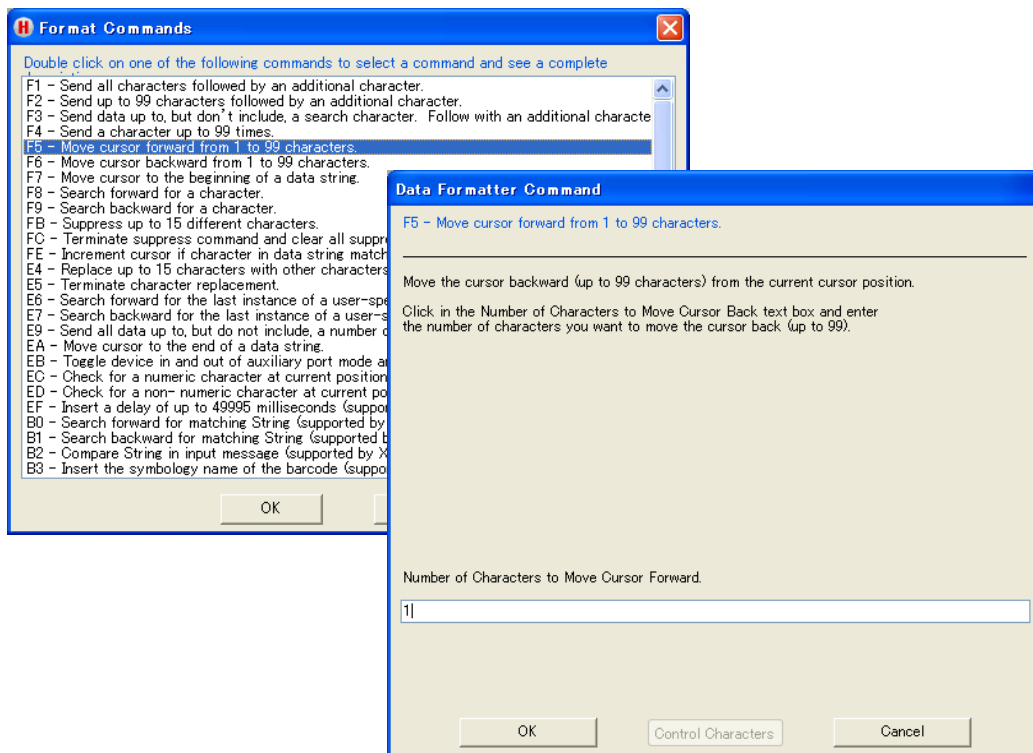
Alternate 3

< Back Next Cancel Help

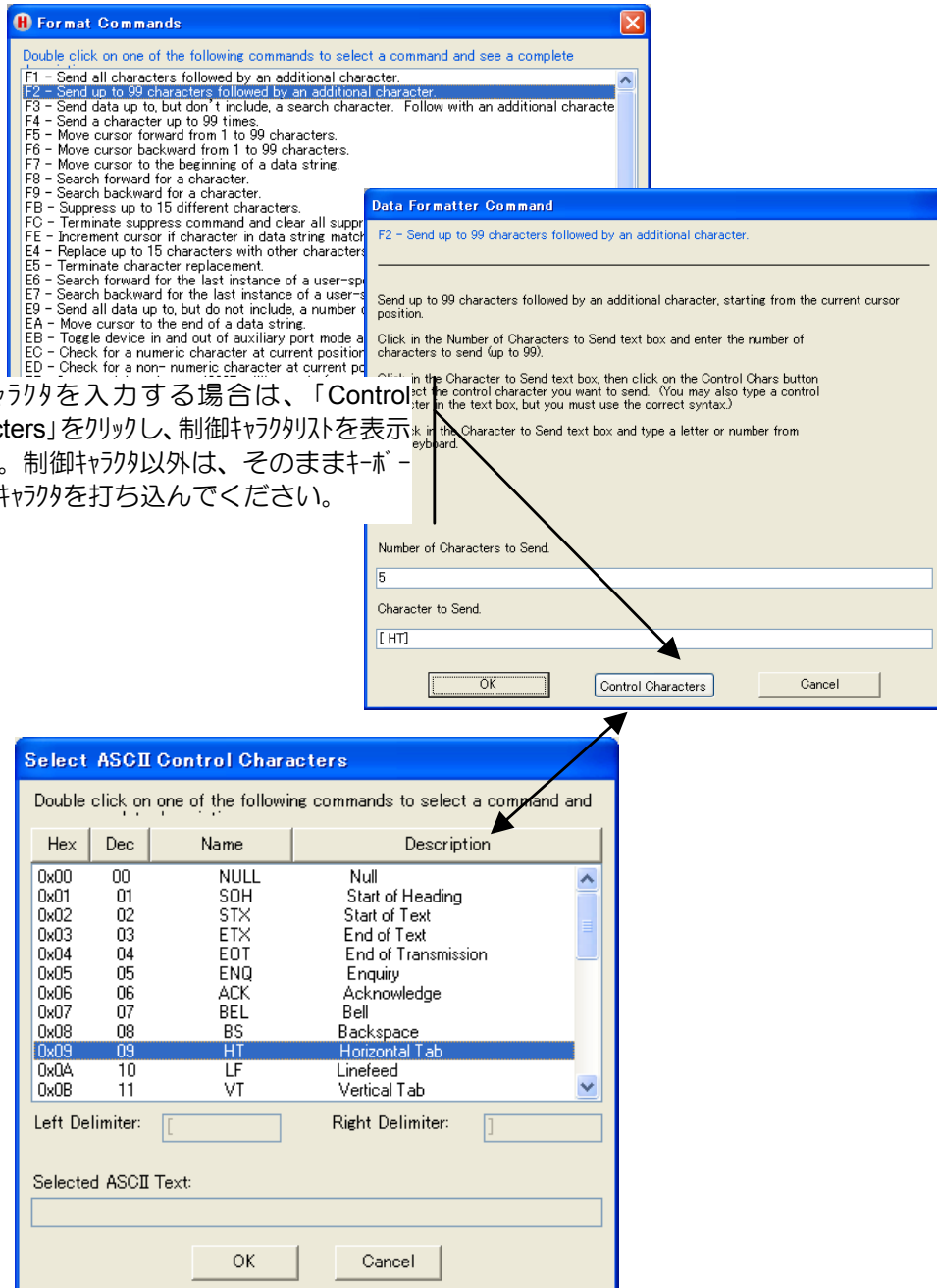
9. 「Select Command」をクリックして、データ編集コマンドの選択に移ります。



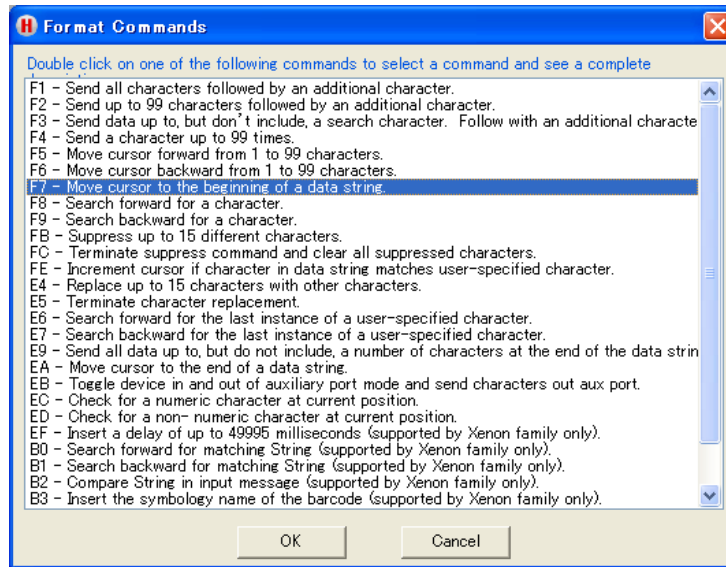
10. カリを2桁目へ移動させるため、F5コマンドを選択して「OK」をクリックします。続いて、移動させる桁数として、1を入力して、「OK」をクリックします。



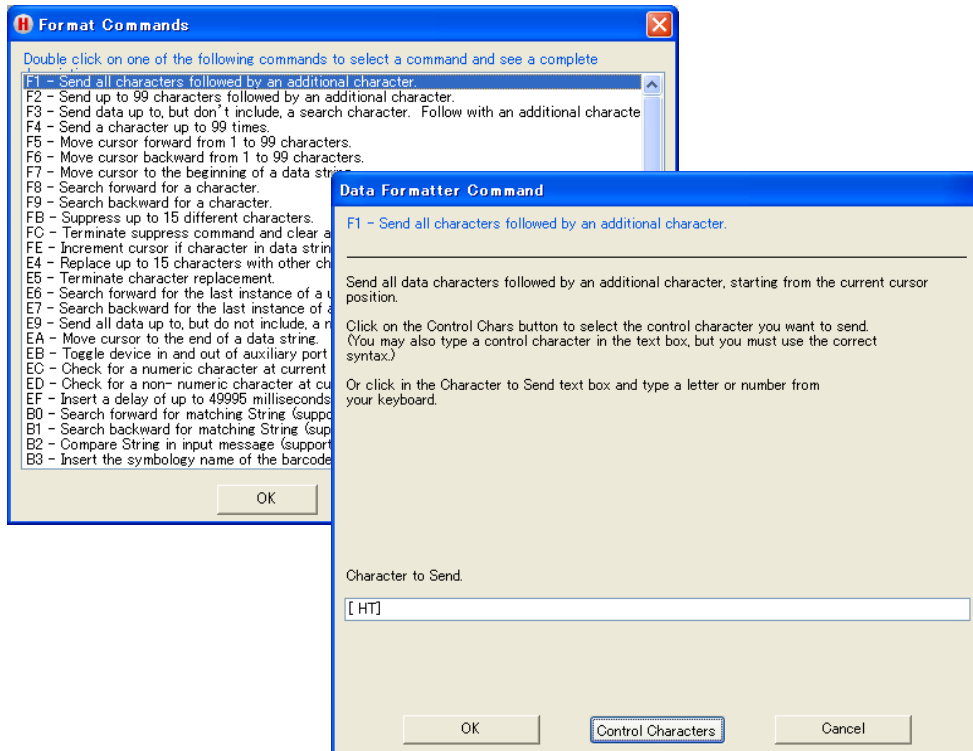
11. 現在のカリ位置から 5 桁のデータに TAB(09hex)を付加して送信するので、F2 コマンドを選択し、桁数を 5、付加送信キャラクタを TAB に設定します。



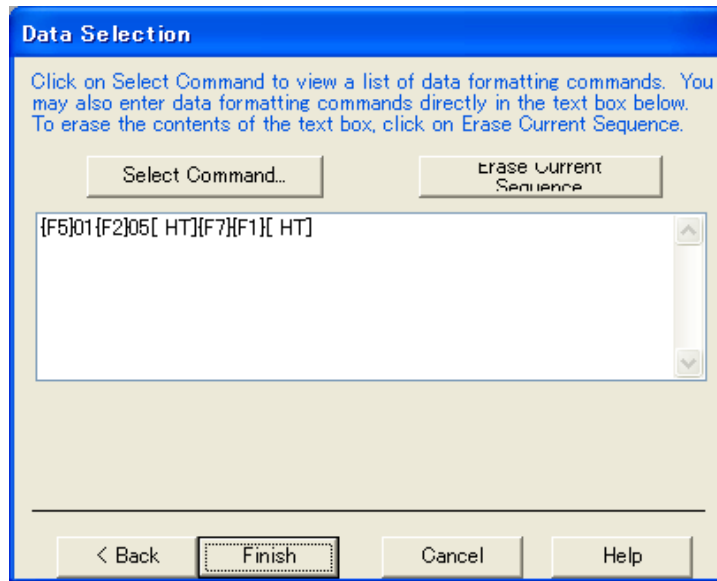
12. 現在のカリ位置を先頭に戻すため、F7 コマンドを選択します。



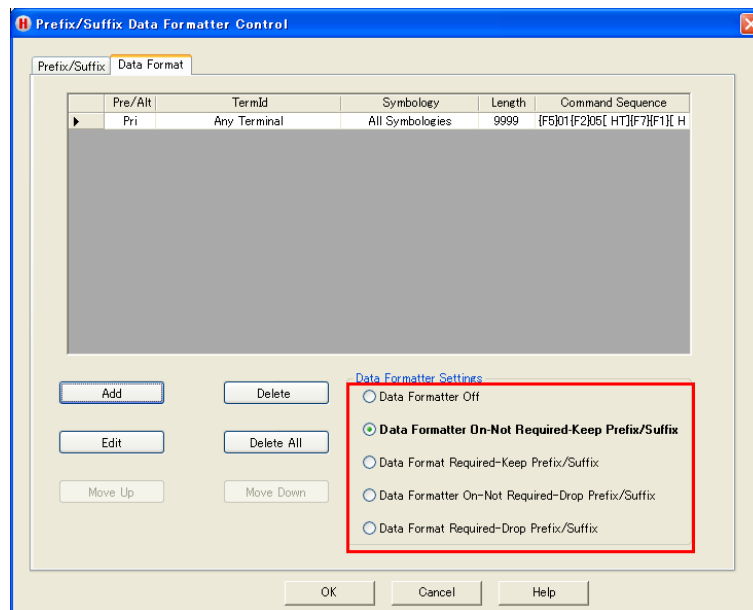
13. 現在のカリ位置以降の全読取データに TAB(09hex)を付加して、送信するので、F1 コマンドを選択し、付加送信キャラクタを TAB に設定します。



14. 組み立てられた編集コマンドが、下記のようになっている場合は成功です。「Finish」をクリックして最初の画面に戻ります。



15. この一連の作業を繰り返すことで、複数のデータ編集フォーマットを登録することが可能です。



Data Formatter Off

データ編集フォーマットを適用しません。

Data Formatter On-Not Required—Keep Prefix/Suffix

データ編集フォーマットを適用(必須ではない)します。プレフィックス/サフィックスも適用します。

Data Formatter Required—Keep Prefix/Suffix

データ編集フォーマットを必ず適用します。適用できないデータはエラーとなります。プレフィックス/サフィックスも適用します。

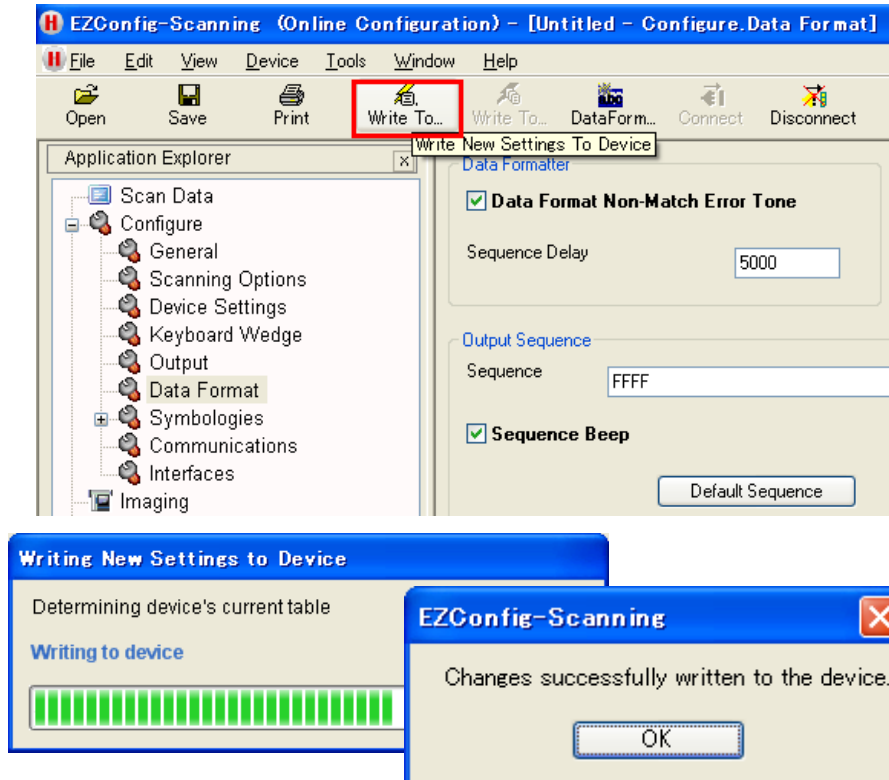
Data Formatter On-Not Required—Drop Prefix/Suffix

データ編集フォーマットを適用(必須ではない)します。プレフィックス/サフィックスは適用しません。

Data Formatter Required—Drop Prefix/Suffix

データ編集フォーマットを必ず適用します。適用できないデータはエラーとなります。プレフィックス/サフィックスは適用しません。

16. 設定が完了すれば、「Write to ...」アイコンをクリックして、スキャナに設定値をダウンロードします。

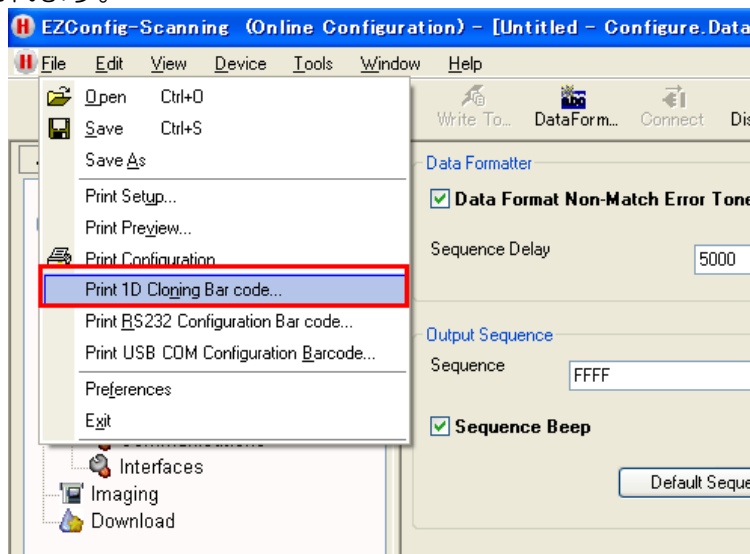


「Changes successfully written to the device」というメッセージが表示されればダウンロードは成功です。

尚、本書では、インターフェイスや読取コードの設定は行っていませんが、運用に適切な設定を行った上で、設定値のダウンロードを行ってください。

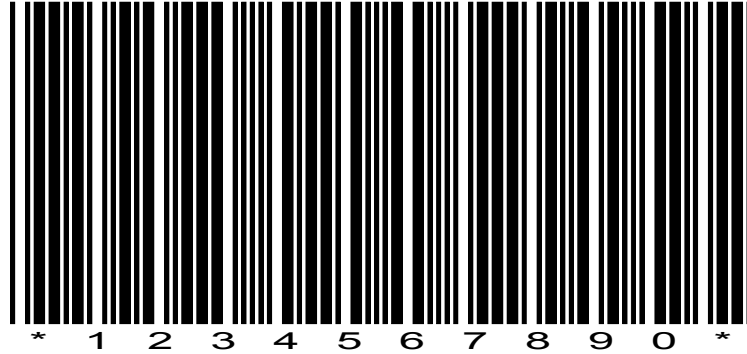
バーコード設定の場合

「File」... 「Print 1D Cloning Barcode ...」を実行し、メニューバーコード表を印刷してください。印刷したメニューバーコード表をスキャナで読み取ると、全ての設定内容がスキャナに反映されます。



最後に下記のサンプルバーコードを読み取って、設定変更が正しくできたかを確認してください。

サンプルバーコード



「1234567890」というデータがインコードされています。以下のように出力されればデータ編集フォーマットが正しく設定されています。

<プレフィックス>23456<TAB>1234567890<TAB><サフィックス>

A.5 コード ID 表

シボ ル	AIM-ID	AIM モデ ィフアイア(m)	コード ID
全シボ ル			(0x99)
オーストラリア郵便コード	JX0		A(0x41)
Aztec コード	Jzm	0-9, A-C	z(0x7A)
イギリス郵便コード	JX0		B(0x42)
カナダ 郵便コード	JX0		C(0x43)
中国郵便コード	JX0		Q(0x51)
中国シンガポールコード (Han Xin Code)	JX0		H(0x48)
コード バ - (NW7)	JFm	0-1	a(0x61)
コード フ ム ック A	JO6	0-1,4-6	V(0x56)
コード フ ム ック F	JOm	0-1,4-6	q(0x71)
コード 11	JH3		h(0x68)
コード 128	JCm	0-2,4	j(0x6A)
GS1-128	JC1		l(0x49)
コード 16K	JKm	0-2,4	o(0x6F)
コード 32 パラマ (PARAF)	JX0		<(0x3C)
コード 39	JAm	0-1,3-5,7	b(0x62)
コード 49	JTm	0-2,4	l(0x6C)
コード 93 & 93i	JGm	0-9, A-Z,a-m	i(0x69)
データマトリクス	Jdm	0-6	w(0x77)
JAN/EAN-13(Bookland EAN を含む)	JE0		d(0x64)
EAN-13 w/アド オンコード	JE3		d(0x64)
EAN-13 w/拡張クーポンコード	JE3		d(0x64)
JAN/EAN-8	JE4		D(0x44)
JAN/EAN-8 w/アド オンコード	JE3		D(0x44)
GS1 コンボ シ ッ ト	Jem	0-3	y(0x79)
GS1 Databar	Jem	0	y(0x79)
InfoMail	JX0		,(0x2C)
インテリジ ェントメルバ -コード	JX0		M(0x4D)
インターリーブト 25	Jlm	0-1,3	e(0x65)
日本郵便コード (カスタマバ -コード)	JX0		J(0x4A)
KIX 郵便コード	JX0		K(0x4B)
韓国郵便コード	JX0		? (0x3F)
マトリクス 25	JX0		m(0x6D)
マキコード	JUm	0-3	x(0x78)
マイク PDF417	JLm	3-5	R(0x52)
MSI	JMm	0	g(0x67)

シンボル	AIM-ID	AIM モデ ィアイア(m)	コド ID
NEC 2/5 (COOP 2/5)	JX0		Y(0x59)
OCR MICR (E-13B)	Jo3		O(0x4F)
OCR SEMI フォント	Jo3		O(0x4F)
OCR-A	Jo1		O(0x4F)
OCR-B	Jo2		O(0x4F)
PDF417	JLm	0-2	r(0x72)
Planet コド	JX0		L(0x4C)
Postal-4i	JX0		N(0x4E)
Postnet	JX0		P(0x50)
QR コド /MicroQR コド	JQm	0-6	s(0x73)
ストロト 25 IATA	JRm	0-1,3	f(0x66)
ストロト 25 インタ ストリアル	JS0		f(0x66)
TLC39	JL2		T(0x54)
Telepen	JBm		t(0x74)
UPC-A	JE0		c(0x63)
UPC-A w/アド オンコド	JE3		c(0x63)
UPC-A w/拡張ケホ ソコド	JE3		c(0x63)
UPC-E	JE0		E(0x45)
UPC-E w/アド オンコド	JE3		E(0x45)
UPC-E1	JE0		E(0x45)

A.6 キーボードコード対応表

ファンクションキー対応表 (AT, PS/2, DOS/V)								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0		F11	SP	0	@	P	`	p
1	Enter*	HOME	!	1	A	Q	a	q
2	CAPS LOCK	Print	"	2	B	R	b	r
3	ALT make	BS	#	3	C	S	c	s
4	ALT break	Back TAB	\$	4	D	T	d	t
5	CTRL make	F12	%	5	E	U	e	u
6	CTRL break	F1	&	6	F	V	f	v
7	Enter	F2	'	7	G	W	g	w
8		F3	(8	H	X	h	x
9	TAB	F4)	9	I	Y	i	y
A		F5	*	:	J	Z	j	z
B	TAB	F6	+	;	K	[k	{
C	DEL	F7	,	<	L	¥	l	
D	Enter	F8	-	=	M]	m	}
E	INS	F9	.	>	N	^	n	~
F	ESC	F10	/	?	O	_	o	~

CTRL+ASCII 対応表 (AT, PS/2, DOS/V)								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0	CTRL+@	CTRL+P	SP	0	@	P	`	p
1	CTRL+A	CTRL+Q	!	1	A	Q	a	q
2	CTRL+B	CTRL+R	"	2	B	R	b	r
3	CTRL+C	CTRL+S	#	3	C	S	c	s
4	CTRL+D	CTRL+T	\$	4	D	T	d	t
5	CTRL+E	CTRL+U	%	5	E	U	e	u
6	CTRL+F	CTRL+V	&	6	F	V	f	v
7	CTRL+G	CTRL+W	'	7	G	W	g	w
8	CTRL+H	CTRL+X	(8	H	X	h	x
9	CTRL+I	CTRL+Y)	9	I	Y	i	y
A	CTRL+J	CTRL+Z	*	:	J	Z	j	z
B	CTRL+K	CTRL+[+	;	K	[k	{
C	CTRL+L	CTRL+¥	,	<	L	¥	l	
D	CTRL+M	CTRL+]	-	=	M]	m	}
E	CTRL+N	CTRL+^	.	>	N	^	n	~
F	CTRL+O	CTRL+_	/	?	O	_	o	~

- 太点線で囲まれた部分はファンクションキー及び CTRL+ASCII キーを意味します。これらは一部の機種で正しく動作しない場合があります。
- CR*は、テンキーパッドの ENTER キーを意味します。

特殊キ-コード表	
↑	ALT + 128
↓	ALT + 129
→	ALT + 130
←	ALT + 131
Insert	ALT + 132
Delete	ALT + 133
Home	ALT + 134
End	ALT + 135
Page Up	ALT + 136
Page Down	ALT + 137
右 ALT	ALT + 138
右 CTRL	ALT + 139
予約	ALT + 140
予約	ALT + 141
Enter (Enter)	ALT + 142
/ (Enter)	ALT + 143
F1	ALT + 144
F2	ALT + 145
F3	ALT + 146
F4	ALT + 147
F5	ALT + 148
F6	ALT + 149
F7	ALT + 150

A.7 ASCII コード表

ASCII コード表								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	CR	GS	-	=	M]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

A.8 トラブルシューティング

電源が入らない

- ケーブルは正しく接続されていますか？
- AC アダプタ (RS232C タイプ) は正しく接続されていますか？
- PC の電源 (キーボード / USB タイプ) は入っていますか？

バーコードを読み取らない

- 対象のコードの品質は悪くないですか？ 汚れたコード、劣化したプリンターで印刷したコード、複写したコードなど、品質の悪いコードは読取不良や誤読の原因となりますので避けてください。
- 対象のコード種を読み取れるように設定していますか？
- チェックディジットが付加されていないコードに対して、チェックディジット有りとして設定していませんか？
- 読取窓は汚れていませんか？

バーコードを読み取りづらい

- 対象のコードの品質は悪くないですか？ 品質の悪いコードは読取不良や誤読の原因となります。
- 読取窓は汚れていませんか？

PC にデータが入らない

- ケーブルは正しく接続されていますか？
- ワイヤレスキャパとベースステーションのリンクは正しく確立されていますか？
- Bluetooth ドングルと正しく SPP 接続を確立できていますか？
- キャパの設定は間違っていないですか？
本書「4.2 キャパの簡単セットアップ」を参考にキャパの再初期化を行った後、PC の電源を再立ち上げしてください。

症状に変化がない場合は、弊社又はお近くの販売店までご連絡ください。

A.10 サンプルコード

